

認定NPO法人ぐる-ぶ藤

第15回(通算第27回)通常総会議案書

日 時 : 2019年6月8日(土)

10:30~14:00

場 所 : 藤沢商工会館ミナパーク

総 会 次 第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議長選出

5. 資格審査

6. 議事審議

第 1 号議案 事業報告

第 2 号議案 決算報告および監査報告

7. 報告

事業計画および事業予算

8. 永年勤続表彰

9. 閉 会

はじめに

私たちの市民参加の街づくりの活動は28年目に入りました。昨年度は2005年の組織改正から13年間続いた6代目から7代目理事長に交代するという大きな節目になりました。理事長が会長に就き、理事長とともに運営責任を持つ大きな組織改革を行いました。ぐるーぷ藤の理念は変わることなく、自分たちが住み暮らす地域にこだわり、市民の安心・安全・快適な街づくりを進めてまいります。

昨年末には、5年前に取得した認定NPO法人の更新申請を行い再取得が決定しました。私たちの活動を支えてくださるご利用者・ご家族はじめ多くの温かいご支援のおかげと感謝し、認定NPO法人として社会的責任を果たしてまいります。

住み慣れた地域で暮らすためにはそれぞれの事情や状況に合った住まいと生活支援サービス、環境整備が必要です。国土交通省より委託を受けた居住支援法人として住居の確保が困難な方の支援を引き続き行います。そして、お一人おひとりに寄り添う対応を行うために、様々な地域資源を活用しサービスのマッチングを行う努力をしております。また、現在ないサービスはぐるーぷ藤らしさを発揮し自ら作り出し行動していきます。

ぐるーぷ藤のメンバー一人ひとりが自身の目標を持ち活動することが自己実現とケアの質の向上につながるのだと確信しています。今後とも、さまざまな多方面の方々と連携を図り、よりよい福祉の街づくりのため活動してまいります。

第1号議案

2018年度事業報告

1. 組織運営

今年度は第14回総会において、理事長交代という大きな組織の改革がありました。前理事長が会長に就き、新体制がスタートしました。会長は理事長を支え、ぐる一ふ藤の運営を担いつつ、外部でも地域づくりのため様々な活動を通して情報提供や相談等を行いました。理事長はこれまでの運營業務の引き継ぎ、内外の関係各所に会長と行動を共にするなど多忙な一年でした。また、5年前に取得した「認定NPO法人」の更新申請を行い、2018年12月に再取得が決定しました。

福祉マンション「ぐる一ふ藤一番館・藤が岡」は今年も地元藤が岡の地に根づく活動ができました。大勢いる地元のスタッフの様々なご縁からどんぐり園はじめ地元自治会・学童保育・中学校などとの交流が頻繁に行われました。

ぐる一ふ藤では、ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することを方針として掲げていますが、今年度も多くのスタッフが部門を超えて活躍しました。

オープンして2年が過ぎた事業棟「ぐる一ふ藤二番館・アクア棟」、サービス付き高齢者向け住宅「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」は順調にご利用者、ご入居者が増え、二番館の各部門が連携を取り合い一丸となって支えることができました。

新規事業としては9月に居住支援法人「住まいる・藤」を立ち上げ、住まいに困っている方の住まい探しや入居後の生活支援活動を始めました。同時期に認知症の方とそのご家族の憩いの場として、認知症カフェ「オレンジ・まるだい」を始めました。

運営については、年5回の理事会で予算をはじめ事業運営に関する重要事項の検討を行いました。役員及び各事業部門の代表で構成された部門代表会議を年17回開催し、理事会での決議を踏まえて各事業に関する諸事項の討議を行いました。全会員に対し月1回の運営報告会で運営状況の報告を行い情報の共有を図りました。また部門ごとに会議や担当者ミーティングを持ちそれぞれの課題を話し合うとともに、研修の場となるように努めました。部門の枠をこえた委員会活動やプロジェクトは、さまざまな形で会員が運営に参加する機会になりました。

また、神奈川県介護サービス事業所等でサービスの質や人材育成、処遇改善等について一定の水準を満たしている介護事業所を認証する制度「優良介護サービス事業所『かながわ認証』」として、「ホームヘルプ」と「しがらきの湯」に加えて2018年11月に「藤の花」が認証されました。

2. 事業・活動部門

2-1 訪問介護事業（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えました。

介護保険では、必要とされる時に必要なケアの提供をめざしました。自宅で最期を過ごしたいというご利用者の気持ちに寄り添い、大好きなお庭を見ながら穏やかに最期を迎えていただくことができました。ご家族の不安を軽減できとても喜ばれました。若年性認知症の方のデイからのお迎えでは、デイのスタッフと協力して安全に階段を昇るサポートができ、短期間で終了しましたがご家族からとても感謝されました。またサービス付き高齢者向け住宅のご入居者にはケアマネジャーやコンシェルジュ等と連携して細かく対応し、頻回に様子を確認することで藤の花に繋げ、在宅生活を安心して過ごしていただくことができるようになりました。独居で在宅生活が難しくなったご利用者にはケアマネジャーと連携して包括的なサービスの提案をし、しがらきの湯に繋げ安全な在宅生活を確保していただくことができました。様々な対応を通じぐるーぷ藤全体の組織力を実感しました。

本来事業では、子育て支援が口コミで広がり問い合わせが多く、出来るかぎり対応しましたが、地域外等からの依頼にはお断りすることもあり需要の多さを感じました。藤沢市としての取り組みも今後提案していく必要があると思いました。

障がい者総合支援法では、行動援護と同行援護の資格を活用し、通学バスを利用できない高校生の送迎をし、仕事をしているご家族から感謝されています。また、視覚障がいのご利用者の余暇活動の同行では、家族・友人に頼らず買い物に行けることや、下肢筋力の強化にも繋がるととても喜ばれています。資格を持ったサービス提供責任者が5名いることで必要なケアに細かく対応をすることができました。精神・知的・身体・児童と様々な障がいの方々のニーズに、その方の特性を理解して個別に対応しました。

事業所加算Ⅱを取得している事業所として、関係機関からの多様な利用依頼に出来る限り応えました。突然の対応や、短期間・短時間ではありますが緊急時の頻回な訪問等、ご利用者に必要な支援を必要な時に提供できるよう努力しました。訪問介護の介護力アップとヘルパーの資質向上のために、様々な事例検討を毎月の会議できめ細かく行いました。特に難しい買い物ケアではロールプレイを行い現場の対応をみんなで確認して好評でした。ヘルパー全員に共通した理解をしてもらうことの難しさもあり、繰り返し確認することの重要性も感じた1年でした。

2-2 通所介護事業（アクアデイ菜の花）

運動特化型デイサービスとして介護予防の事業対象者から要介護5の方まで

ご利用され「Active・Crew・Adventure pool」の理念とともに、個別機能訓練を重視したプログラムを作成し実施しました。

超音波流水プールでは新たに基礎水泳指導員が加わり、週1回の水中歩行を中心としたメニューを取り入れ歩行力の向上をめざしました。難病のため車椅子移動されている方の「歩きたい」という思いを尊重し、水中歩行をする事で状態の維持ができました。圧迫骨折後のリハビリのため水中歩行を1年間継続し介護度が介護4から支援2に改善された方もいらっしゃいました。この事が鎌倉市・藤沢市に評価され事業所評価加算を取得する事ができました。「ぐる一歩藤といえば超音波流水プール」と言われるほど定着しました。

また、太極拳、ご利用者主体のハンドメイドサークル、セルフアロママッサージ、和太鼓等、曜日ごとに特色を活かしたプログラムを取り入れ様々な身体状況の方に対応する機能訓練を充実させました。

昨年度に引き続き地域の夏祭りでの和太鼓演奏は参加人数も増え、積み重ねた成果を発表することでご利用者の士気も上がりました。

近隣にお住まいの方やサービス付き高齢者向け住宅にお住まいのボランティアにタオルたたみや傾聴等、楽しんで参加していただいています。

3か月に1回の計画書の見直しには、体力測定やご利用者との日々の会話などを活かし、看護師・機能訓練指導員・スタッフが連携し取り組んでいます。またスタッフは外部研修や内部研修に積極的に参加し自己研鑽に努めました。

2-3 居宅介護支援（ぐる一歩藤ケアマネジメント）

ご利用者の身体状況や困りごとに対して丁寧なアセスメントを行い、住環境やご家族関係等背景にある問題点の把握に努めケアマネジメントを行いました。

ご利用者自身が持つ能力と自己決定を尊重し、地域の社会資源を有効活用するために情報収集を行い、自立支援をめざしたケアプランを作成しました。

定期的なモニタリングを行い、サービス担当者間の情報共有によりご利用者の状況の変化にはスピーディに対応し、計画変更等を適切に行いました。また、入院されたご利用者の情報提供や退院時カンファレンスの出席等医療との連携を図り、他職種とのサービス調整を行い在宅生活の継続を支援しました。

同居のご家族、就労、遠方在住のご家族の抱える悩みや心配事に耳を傾け、相談には丁寧に応じ、家族の心身の負担を軽減できるよう関連事業所や小規模多機能型居宅介護、他施設移行の提案をしました。ご家族からは気持ちが楽になったと感謝の言葉をいただきました。

今年度3名のケアマネジャーが加わり7名体制で増加するケアマネジメントの依頼に対応しました。サービス付き高齢者向け住宅のご入居者にも介護保険のサービスに関する内容の説明や書類申請等、ご本人やご家族の支援も行うことができました。住み慣れた地域や住まいを離れて不安を抱えるご入居者が早く生活に慣れるよう、同一敷地内にあるデイサービスや小規模多機能型居宅介

護、レストランのスタッフが連携して声掛けや見守りを行うことで、ぐる一ふ藤ならではのケアプランを作成することができました。

2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐる一ふ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を組み合わせたサービスでご利用者とご家族がいきいきと過ごせるように支援しました。ご利用者の個性を大切にし集団生活でも自分らしく過ごせる環境作りと一人ひとりの意向を尊重した対応を行いました。

開設から続いている玄米にぎにぎ体操・35回目を迎えるおやつ教室をはじめ三味線・詩吟・太極拳・ズンバ等、年間延べ100人以上のボランティアに支えられ多彩なカルチャーを提供することが出来ました。

またアクアデイ菜の花のプールの利用、富士山頂をめざす歩行訓練ゲームでご利用者の機能向上に努めました。お出かけデイはこの夏の異常な暑さにより行動が制限されましたが、その代わりに焼肉やお好み焼き等ご自分で作りながら食べる外食や、屋内で絵画や歴史にふれることで楽しみを広げることが出来ました。

同一敷地内にあるサービス付き高齢者向け住宅がオープン2年を過ぎてご利用される方が増えました。新しい環境に慣れず混乱する方、体調を崩し入院され退院後にリハビリを兼ねて利用する方等の日常生活をサポートしました。ご利用者の生活サイクルを尊重し朝食前から就寝時まで寄り添うケアをしました。

問題行動や身体状況の低下で在宅で過ごすことが難しくなった方も多く、看護小規模多機能型居宅介護やグループホームへの利用につなげました。

今年度は優良介護サービス事業所「かながわ認証」を取得しました。

管理者・主任・計画作成担当者の変更に伴い新体制を整え、スタッフは藤の花独自研修で日々変わるご利用者の状態に対応できるよう努め、内部外部研修にも多数参加しました。

2-5 看護小規模多機能型居宅介護（しがらきの湯）

「通い」「泊り」「訪問介護」「訪問看護」「ケアプラン」のサービスを一体化し、在宅の受け皿としてトータルケアを行ってきました。地域病院の連携室やリハビリ施設からの依頼で、主治医の指示書をもとに医療依存度の高い方でも退院直後から在宅生活へスムーズに移行できるよう支援しました。癌末期の方だけでなく心身が衰えた高齢の方の看取りケアも様々でした。独居であっても最期まで自宅で過ごしたい、ショートステイを利用しながら最期の瞬間自宅に帰りたいなどご利用者やご家族の思いを尊重し、医療や多職種と連携し包括的に対応しました。ご家族のレスパイトケアとして泊り・訪問のプランを増やし身体的、精神的サポートも行いました。最期の日を迎え写真を見ながら日々を振り返り一緒に語る機会を持つことができご家族の気持ちに寄り添うことが出来ました。

ご利用が数日から数週間という短期間になってしまう方も多く、ご家族との信頼関係を持つことの難しさを感じつつ思いをスタッフ間で共有していきました。

居心地の良い環境作りを大切にしながら生活リハビリを中心とした個別機能訓練を継続することで日常生活動作の向上をめざしました。大小リクライニング車椅子を利用する方が増えフロアに余裕がなくなる中、事故防止に努めながらケアをするスタッフがそれぞれ工夫し、ご利用者が皆同じ空間を共有できました。自治会行事である夏祭り・お餅つきへの参加やどんぐり園の子供たちとのふれあいなどで、地域社会との繋がりを持ち個々の存在意識を低下させないように努めました。四季折々の外出や外食では、全員で茅ヶ崎里山にピクニックに出かけたり桜の花のトンネルで記念撮影、甘いスイーツに心躍ったりと笑い・喜び・希望を引き出す機会を作りました。

優良介護サービス事業所として、スタッフ個々がめざす介護・医療研修に多く参加しスキルアップを図るとともにリーダー育成につなげていきました。

2-6 障がい者グループホーム

20代から60代の障がいのある方たちが、緩やかな家族のように助け合っ
て暮らすグループホームでは、安心して社会性のある毎日が過ごせるよう支
援をしました。生活の中で仕事・健康・家事・家族関係等困った時、なじみのス
タッフや他部門のスタッフ、関係各機関の方たちと連携しながら支援を行う事
で、その方らしい解決方法を見つけられるよう手助けしてきました。

コミュニケーション力の訓練のため3年前から始めた月1回のホームルーム
では、スタッフの見守りのもと自主的に進められるようになりました。司会役が
苦手だった方が準備を重ねその役割を果たすことが出来たり、なかなか関係が
深まらなかった方達がお互いの意外な一面を知る良い機会となりました。

また入居者自身の高齢化だけでなく、支えてくれていたご家族も高齢化して
様々な問題が起きました。別居している親の介護に行き自身が疲れ切って
しまう方や、親御さんが亡くなって葬式、遺産相続、成年後見の相談等が必要に
なった方に広範囲の支援を行ってきました。加齢に伴う精神状態の変化や身体
疾患の増加で医療との連携がさらに必要となってきました。

(藤が岡の家)

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、法人内の他部門の
スタッフの協力を得て、安心の住まいを提供してきました。自治会のお祭りに参
加する等様々な人との関りを持てるよう支援してきました。開設から12年を
経て入居者の高齢化は著しく介護の必要性についても検討することが課題です。

(本藤沢の家)

今年度は1名の方が自立生活に向け、法人所有のサブリースアパートに移り
ました。グループホームで培った生活技術で自分らしい自由を満喫しています。
新入居者を迎えて今年度も様々なイベントを組んで変化のある生活になるよう

努力しました。

毎週土曜日の料理サークルでは入居者からのリクエストメニューや行事食を取り入れ、充実した夕食会を開いています。月1回の手芸サークル「けいと玉」では3名の入居者が自分らしい作品作りをしています。開始から6年目を迎え多くのボランティアの支援を受けて活動が継続できています。

2-7 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがあっても地域で自分らしく暮らし続けていくために様々な制度やサービス、社会資源や人を調整しその方に寄り添い活動してきました。今年度は2名の新しい相談支援専門員を加え、積極的に活動してきました。同一法人内に障がい居宅介護事業と精神障がいを中心としたグループホームを持っていることから、困難なケースも多く制度の中では解決しきれないような課題も見つかりました。

夫婦間でのDVが疑われるケースでは、うつ病で身体障がいがあり歩行・移動・食事・会話すべてに介助の必要な妻を訪問介護、訪問リハビリサービス、市役所の担当者を交えて担当者会議を開き、夫婦ともに支えていく体制をつくることが出来ました。また精神障がいの母親が7歳の長男を叩いてしまうと訴えてきたケースでは、相談支援専門員が足しげく通い、市の子ども家庭課につなぎ、訪問介護サービスや学校の保護者等と協力して、母親だけでなく子供の安全な成長を手助けできるよう見守っています。

様々な障がい特性に合った多様なニーズに応えられるよう、相談援助のスキルと知識を身に付けるとともに、介護保険に比べ障害サービスはまだ十分とは言えず、現状を少しでも良くしていけるよう声をあげています。

2-8 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

お住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただくために、needs（満たさなければいけないもの）に応じて介護保険による看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機能型居宅介護、ホームヘルプ、外部事業所のデイサービスなどを利用し、生活の質を維持できるように支援しました。

ご入居に至る経緯として、他の施設を利用し一番館への入居を待たれた方は、前施設と連携を図り入居後にできる限り早く一番館の生活になじんでいただけるように努めました。また新たに施設入居される方はご本人の思いを受けとめると同時に、ご家族の「まだ在宅生活ができるのではないか」等複雑な思いを受け止めることから対応しました。ご本人に適した生活が送れるように、医療関係者をはじめ他部門多職種と連携することでご家族に納得していただけるケアをめざし行いました。

暮らしの中での心の充実を図るために、お一人おひとりのwants（望み、要求）を知り、望みをかなえる機会を持ちました。季節感を取り入れた料理レクではボ

ランティアすみれの協力も得ることで、包丁を上手に使う姿や手早くお団子を丸める姿など、とても張り切るご入居者の様子が見られました。看取りケアでは、ご家族とコミュニケーションをさらに密にすることで不安や迷いに寄り添い、今できる事を共に考えその方らしい最期をお迎えすることが出来ました。

スタッフのスキルアップ研修として「高齢者虐待防止・身体拘束」について自己点検シートを活用し学びを深めることで、知識、技術の向上につながりました。「おもてなしの心」を基本とした、もう一つの家族としての役割を担えるよう努力しました。

2-9 サービス付き高齢者向け住宅（ぐる一ふ藤二番館）

サービス付き高齢者向け住宅「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」も丸2年が経過し、当初の目標を上回る方々にお住まい頂いています。そのためコンシェルジュの対応も、毎日の安否確認や生活相談サービスを始め、催し物の案内・引越し支援・館内外の清潔保持等多岐に渡っています。また管理人による夜間の訪問や救急車の付き添いなど緊急対応も行い、ご入居者の安心・安全・快適な住空間の確保に努める多様な援助を行いました。

同一敷地内にある小規模多機能型居宅介護、デイサービス、居宅介護支援、レストラン等のサービスと連携してご利用者のニーズに対応し、有料ホームや特別養護老人ホームへの橋渡しをしたり、癌末期のご入居者の看取りも行い法人一丸となって取り組みました。入院先から直接ご入居された方には、直ぐにホームヘルプで支えるなど切れ目のない援助を心がけました。

近隣の方と共にサ高住とアクア棟で避難訓練を実施しました。初めて井戸水を利用したトイレの組み立てを行い、計画通り約15分で水洗トイレを作ることが出来ました。子ども達の参加も得て流しソーメンや冷たいスイカと共に防災食の混ぜご飯や缶詰を味わい交流を深めました。

またデイサービスフロアやレストランを利用した、苔玉作り・お茶会・紅茶を楽しむ会・昔の写真を利用した思い出会・そば打ち・忘年会等イベントを行い、多くの参加者に楽しんで頂きました。

長年地域で対人援助を行ってきた法人としての力を十分発揮して支援を行うことが出来ました。

2-10 厨房及びレストラン オハナ

厨房では一番館にお住まいの方・医療依存度の高い看護小規模多機能型居宅介護をご利用されている方に、栄養バランスの良い献立・食べやすい食事・衛生的な食事を提供しました。食材を生かして調理した常食・食べやすく切った刻み食・固形化補助食品を使い食材の見た目もきれいに仕上げたソフト食・嚥下補助食品で食材の風味を損なわず作るミキサー食まで安全で美味しく召し上がっていただく為にスタッフ一同知識と技術の共有を図りました。

季節感豊かな行事食も提供しご利用者に大変喜んでいただきました。
管理栄養士は食事介助も行うことでアセスメントに生かし多彩な献立作りに役立てました。

併設のレストラン「オハナ」では6月よりNEWオハナとして日替わりランチメニューを一新しました。メイン料理はもちろん小鉢もとても好評です。地域の高齢者から子育て世代の方々、スタッフの昼の楽しみにもなりました。また利用者のイベントの場として誕生日会やクリスマスパーティーも行い皆様に楽しんで頂きました。

また本藤沢の家の夕食提供を継続し、世代に幅のあるご利用者に満足して頂けるようメニューに変化を付け対応しました。

2-11 レストラン マハロ

レストランマハロでは、小規模多機能型居宅介護へ食事の提供、デイサービスには手作りおやつ提供、サービス付き高齢者向け住宅の方には朝のコーヒータイムから夕食まで一日過ごして頂ける空間を提供しました。また必要な方にはお部屋までの送迎やお弁当を届けるサービスも行いました。小規模多機能型居宅介護には特別食をはじめ行事食や敬老の日・家族会・誕生日会のデザートも提供しとても好評でした。レストランでは日替わりマハロランチ・季節のうどん・マハロ膳やケーキセットを楽しく召し上がって頂けるよう努めました。

コンシェルジュや二番館で働くたくさんのスタッフと連携をとりながら日々の生活を見守るだけでなく、そば打ちや忘年会などのイベントも開催しサービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方のコミュニケーションの場としての役割も担いました。

2-12 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じました。

今年度はぐる一ふ藤が居住支援法人としての活動を始め、総合相談窓口でも電話や、来訪による多くの相談を受け付けました。また、企業数社と提携し、従業員の方々からの子育てや介護などの相談に応える「介護福祉ほっとライン」というシステムを開始しました。近隣の方だけでなく遠くの方々の安心も支える事が出来ました。

長年の経験を生かし一人ひとりの状況を理解し、弁護士・民生委員・地域包括支援センター等に橋渡しをするNPO版地域包括支援センターの役割が、また一回り大きくなりました。

2-13 地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

「ヨロシク♪まるだい」は、今年度も地域の方々が気軽に立ち寄れる通いの場・居場所となり、月平均1300人前後のご利用者がありました。子どもから高齢者まで幅広い年代層の交流の場であり、地域の方が友人、知人を誘って一緒に過ごせる地域の食堂でもありました。温かい食事に気持ちもほぐれ、前向きにミニデイに参加される方も多くいました。太極拳・健康体操・ブレイン体操・フラダンスなど体を動かして健康維持、囲碁将棋・麻雀など脳トレ・歌声サロン・民謡で音楽を楽しみ、お茶会・映画でゆったりと時間を過ごすなど多様な楽しみ方を提供できました。

相談窓口には本人、家族、知人などから様々な相談があり、行政、民間等関係機関に繋ぐことができました。地域の方に支えられている「ヨロシク♪まるだい」を街づくりの参考にしたいと、厚労省はじめ全国からの見学者もたくさんありました。

3年目を迎えた「終活セミナー」では身の回りの片づけから墓終いまで、回を追うごとに反響が大きくなってきました。「認知症サポーター養成講座」は認知症になっても安心して暮らしていく為の担い手づくりをめざしました。月1回の「オレンジカフェ」は認知症の方だけでなく誰もが参加し、元気を維持していける工夫を凝らしています。地域の中で顔の見える関係づくりを目的とした「おしゃべり会」、ニーズを把握するための「利用者アンケート」を行いました。その結果担い手づくりにも繋がりました。

藤沢地区地域支え合い会議では、地域の縁側と自治会、民生委員、老人会などの交流会を持ち、縁側活動を地域に周知してもらうように努めました。生活支援コーディネーターとして研修に参加し、地域包括支援センター、民生委員、自治会、他の縁側事業者とも相互に協力し合い緩やかな連携をとり、地域と顔の見える関係作りに努めました。生活支援コーディネーター連絡会では、行政との情報交換、意見交換を行いました。

2-14 子どもの生活支援事業（こども♪まるだい）

3年目を迎えた「こども♪まるだい」では通って来る子供たちも成長し、確実な居場所の一部となっています。スタッフやボランティアの学生などとも馴染んでゲームや遊びを楽しんでいます。はじめ食卓にきちんと座ることが出来なかった子供たちも、全員そろって食事ができるようになりました。残す子供も少なくなり、スタッフも作り甲斐があります。流しそうめん、バレンタインのチョコフォンデュ、一緒に焼いたたこ焼き、副菜づくりや配膳など自分達も積極的に手伝うようになりました。

夏は江の島に野外学習、農福連携での交流でカボチャに文字や絵を描く体験もできました。ハロウィンはお菓子作りを、クリスマスは、普段聴いたこともない講談や民謡、三味線、笑いヨガなどにびっくりしていました。

また読書や勉強を見てもらったり、せっけんやアレルギーの学習などで多くの人と関わりました。子どもたちが落ち着いて色々なことに取り組む雰囲気が出て子どもの「安心して過ごせる居場所」の役割を果たしました。そしてお母さんと喧嘩した子どもの逃げ場であり、関係修復の場。体調不良のお母さんが家で安心して休める、子どもの預け場所。仕事で帰りが遅いお母さんが安心して働ける場。それぞれの家族に「必要とされる居場所」の役割も担ってきました。

3. 管理部門

ぐる一歩藤総体の事務局として管理運営に責任をもち、効率的に業務を遂行できるよう努めました。定款・就業規則・労働基準法をはじめとする法令の遵守を徹底するとともに、請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実に遂行しました。予算の執行にあたっては、人員配置・水道光熱費等すべてにおいて無駄を省き経費節減に努めました。

一番館が12年目に入り修理が例年より多く、迅速に手配することを心掛け利用者、スタッフの生活や業務に支障がないよう努めました。また、就労移行支援事業所の紹介により障がい者の「トライアル雇用」で採用したスタッフは、就労移行支援事業所の適切な指導もありスムーズに就労継続ができました。他の障がい者雇用では引き続き雇用し、一緒に働く仲間にも容易に溶け込んで就労ができました。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

メンバーの紹介により福祉のまちづくりの理念に賛同する仲間が18名増え、3月末で会員は150名となりました。各々の資格や能力を生かして皆がやりがいをもって働ける多様な職場づくりをめざし、自己実現の場をつくりました。

福利厚生の実施にも努め、有給休暇取得は定着した感があり、対象者の83%が取得しました。また、年4回の演劇鑑賞会や催し物を提供しました。

恒例の交流会では、7月には美味しいお酒を片手にイタリア料理を楽しみました。10月は「沼津ぶらり旅」と称した日帰りバスツアーを催行し、世界遺産の韮山反射炉を見学したり、日本一の大吊橋から富士山の絶景を堪能しました。また、帰りに寄った「村の駅」でのお買い物も好評でした。二番館・アクア棟で行った新年会では、新しく入会したスタッフの元イタリアンシェフによるすばらしいお料理も加わり、恒例のゲームで大いに盛り上がり親睦を深めました。

福祉関連有資格者（2019年3月現在・重複あり）

ホームヘルパー	1級：	4名
	2級：	87名
Aヘルパー修了者		6名
初任者研修修了者		13名
同行援護従事者		7名
行動援護従事者		6名
同行援護サービス提供責任者		2名
ガイドヘルパー		28名
認定特定行為業務従事者		8名
（喀痰吸引研修修了者）		
介護福祉士		69名
保健師		1名
看護師		8名
柔道整復師		1名
介護支援専門員		13名
障がい相談支援従事者		8名
精神保健福祉士		3名
社会福祉士		4名
社会福祉主事		4名
福祉住環境コーディネーター		4名
認知症ケア専門士		1名
学習療法士1級		1名
管理栄養士		3名
栄養士		6名
調理師		8名
食品衛生責任者		8名
キャラバンメイト		3名
普通救命講習I修了者		156名
シニア・インストラクター		2名

3-2 広報活動

サービス付き高齢者向け住宅のPRでは、横浜市の介護サービス事業者ガイドブックや広報ふじさわ等に広告を掲載し、多くの方々に広くお知らせする機会を持ちました。内覧会は10月まで行い、その後の個別の見学にもきめ細かに対応しました。ホームページなどインターネットでの問い合わせも増え、グーグルマップ登録や提携している高齢者住宅紹介サイトのメンテナンスをおこないました。

フリーペーパーの地域新聞の取材を受け、ぐるーぷ藤のイベントが掲載されたり、藤の花のイベントのポスターを作成し掲示することで、様々な方々にぐるーぷ藤をアピールすることが出来ました。花どけいは理事長の交代に伴い紙面をリニューアルし、サービス付き高齢者向け住宅とアクアデイ菜の花の特集に力を入れました。

今年度は居住支援事業と、認知症の方とその家族の憩いの場「オレンジまるだい」が開始され、花どけいへの掲載や広報グッズののぼりやバッジ、チラシの作成を行いました。多岐にわたるぐるーぷ藤の様々な事業を広報することに努めました。

3-3 諸団体での役割

- ・ 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・ 一般社団法人市民福祉支援協議会 代表理事
- ・ 民間介護事業推進委員会 委員
- ・ 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・ 藤沢市住まいと暮らし連絡会 役員
- ・ 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 委員
- ・ 藤沢市居宅介護支援事業所連絡会 委員
- ・ ふじさわ福祉NPO連絡会 代表
- ・ 藤沢市相談支援連絡会 委員
- ・ 藤沢市居宅介護支援事業所連絡会 委員

4. 研修プロジェクト

ご利用者のニーズを的確に把握し柔軟に個別ケアを行うために、メンバー一人ひとりが目標をたて介護の質を高めてきました。その土台となる学びの三本柱『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を継承するため今年度も研修プロジェクトを設置しました。

理念の共有を目的とした「理事長と語る会」では、今年度新理事長を迎えたことで、これまでとは違った言葉で理念を聞くことによりぐるーぷ藤の新たな一面を発見することができました。主任や管理者はミッションを確実に遂行するためのエビデンスの重要性を学びました。

スキルアップ研修は全6回開催し120名のメンバーが参加しました。今年度はスタッフが講師になるだけでなく外部講師を招き多くの情報を得ることができ日常の身近なケアに活かすことが出来ました。三重大学准教授竹内佐智恵先生の第26回介護講座ではボディメカニクスを復習するとともに、日頃ケアにおいてご家族との関わりが非常に難しい場面があり、昨年に引き続き家族支援について学ぶ機会を持ちました。精神保健福祉士の長見英知先生に「こころの病～精神的な病気～」と題して正しい知識で偏見をなくすことが大切だというお

話をさせていただきました。司法書士安達莉々先生には「老後を安心して暮らすために」を昨年の講演会の第2弾として講演していただきました。地域からの参加も多く家族信託や後見制度などへの関心の高さがうかがえました。

今年度も内部、外部を合わせて216回の研修を行いました。

5. 安全衛生委員会

安全に安心して働ける職場環境の維持に努め、産業医のアドバイスも受けながら会員の健康保持に努めました。衛生管理者による食中毒・感染症（胃腸炎、ノロウイルス、インフルエンザ）の予防研修を実施したり、対策の連絡等を徹底しました。また腰痛予防体操の講師による実技研修やハラスメント研修も行いました。ご家族にもノロウイルス、インフルエンザが蔓延する前に、予防法や罹患した場合について手紙により注意を促しました。結核の冊子も、しがらきの湯、藤の花、菜の花の3部門のご利用者やご家族へ配布しました。さらにセルフケアの充実化および働きやすい職場環境の形成を目的に「ストレスチェック」を実施しました。

6. 防災委員会

法人として行うべき防災訓練を、法人全体訓練2回、各部門は避難訓練1回・発電機作動訓練1回と決め、実施しました。

7月に法人全体防災訓練の1回目として二番館・柄沢にてサービス付き高齢者住宅のご入居者、アクア棟の施設利用者の火災避難訓練と、近隣の方々にお声掛けし、防災トイレの組み立て訓練・炊き出し訓練を行いました。トイレの組み立て、炊き出し訓練では近隣の方々も参加してくださいました。また地域新聞の取材を受け紙面に掲載され、ぐる一ふ藤の防災意識の高さをアピールすることとなりました。

11月の第2回訓練は、地震通報訓練として、一番館・二番館・本藤沢の家・まるだい、ぐる一ふ藤のすべての拠点を対象に、被災時の状況を一元的に把握する目的で行いました。通信機器が使えない状況を想定し各拠点の情報をスタッフが徒歩で伝達する方法をとり、被災時の情報集約の難しさを感じました。この訓練では検討すべきことが顕在化し大きな収穫となりました。

各部門では何回も訓練を行い、ご利用者・ご入居者の安全確保のために努力しました。

全体訓練を通し法人として災害対策本部の設置の重要性を再認識し、様々な問題を検討しなければならないことが解りました。課題であった法人防災マニュアル完成は来年度となりました。

7. 居住支援チーム 住まいる[▲]藤

2017年度に住宅セーフティネット法が改正され、高齢者、障がい者、低所得者、子育て世帯等の民間住宅への入居に関わる情報提供、相談、見守りなどの入居支援・生活支援を行う法人として神奈川県指定を取り、9月より国土交通省の「重層的住宅セーフティネット構築支援事業」を受託しました。

ケアマネジャー、障害相談支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、宅地建物取扱主任者、藤沢市生活支援コーディネーター等の資格を持つ10名のスタッフが、月1回の会議と毎週のミーティングで話し合いをしながら居住支援法人としての活動を始めました。

まず最初に福祉の法人が居住支援を行う意義、活動内容について市役所関係各課や社会福祉協議会、市内14か所の包括支援センター、障害サービス法人市内16か所の不動産店に説明訪問を行いました。他市のNPO法人を招いての学習会、市内全域に向けた2回のセミナーを開催し居住支援についての相互理解を深め私たちも多くの知識を得ることが出来ました。広報誌「花どけい」をはじめ、居住支援開始案内やセミナー案内チラシを作成し、地域新聞に掲載される等多くの方に活動の周知を図りました。

3か所の相談窓口には50件以上の電話や来訪による相談があり、その中で賃貸住宅を希望する方への相談・同行・マッチング支援を約20件行ってきました。法人内外のサービス付き高齢者向け住宅の入居を検討される方が住宅相談会も含めると約60件と多数あり、住まいに関する相談の必要性の高さを痛感しました。

また入居のための支援だけでなく住み続けるための支援を継続的に行っていくことが、安心して住める街づくりネットワークの構築につながると確認しました。

8. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、柄沢町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行いました。地域で地道な活動をするNPOや障がい者団体等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援してきました。

ふじさわ福祉NPO連絡会は代表として毎月開催しました。昨年度に引き続きサービスAヘルパー養成研修を担当しました。

市民協を代表し民間介護事業推進委員会の委員を務め、全国NPO法人の相談窓口として福祉相談を受け付けました。さらに一般社団法人市民福祉支援協議会の代表としてシニアを対象とした安心の生活サポート「あんサポ」「くらサポ」のしくみを広く理解してもらえるよう活動しました。また、東京大学の依頼で街づくりに関するゼミの講師を務め、そのつながりから、高齢者・障がい者についての研究会の講師も務めました。様々な機会を通して、ぐる一ふ藤の活動を

広く紹介するとともに啓発活動を行ってきました。
※市民協：認定NPO法人市民福祉団体全国協議会

◇講師

- ・ 05/12 認知症予防セミナー
- ・ 05/15 「私の実践お話しします～主婦の底力～」(江戸川総合人生大学)
- ・ 08/22, 30 「訪問型サービスAヘルパー研修」(藤沢市)
- ・ 09/01 「改正介護保険制度及びセーフティネット」(狭山市担い手養成講座)
- ・ 10/02-11 「訪問型サービスAヘルパー研修」(藤沢市)
- ・ 10/24 「看護小規模多機能居宅介護啓発セミナー」(神奈川県)
- ・ 11/12, 12/04 「セーフティネット説明会」(神奈川県居住支援協議会)
- ・ 11/17 「医療による場づくりと福祉の街づくり」(東京大学)
- ・ 12/11, 17 「セーフティネット説明会」(神奈川県居住支援協議会)
- ・ 12/03, 12 「訪問型サービスAヘルパー研修」(藤沢市)
- ・ 12/08, 01/30 「居住支援セミナー」(住まいる藤)
- ・ 01/25 「セーフティネット制度説明会」(神奈川県居住支援協議会)

◇取材、見学等

- ・ 取 材 : (株)タウンニュース社 (一社)長寿社会開発センター

- ・ 見 学 : 一番館 : 8件 76人
: 二番館 : 13件 70人
: ヨロシク・まるだい : 5件 29人
: 子ども・まるだい : 3件 15人

- ・ 新聞等掲載 : 「月刊 地方自治職員研修 2018年5月号」
: 「タウンニュース 2018年5月18日号、7月20日号、
: 2019年1月18日号」
: 「p o r t a 2018年#031」

第2号議案

2018年度決算報告書及び監査報告

2018年度 活動計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

NPO法人ぐるーぶ藤

(単位：円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
藤会員年会費等収入	17,000	
さわ会員年会費等収入	81,000	
賛助会員年会費等収入	20,000	118,000
2 受取寄付金		
寄付金収入		2,328,248
3 受取助成金等		
助成金・補助金収入	7,959,842	
委託金収入	8,408,600	16,368,442
4 事業収益		
事業収入		420,012,203
5 その他収益		
受取利息	327	
雑収入	15,051,379	15,051,706
経常収益 計		453,878,599
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	191,260,784	
有償ボランティア	2,873,973	
通勤交通費	2,795,610	
福利厚生費	995,058	
人件費 計	197,925,425	
(2) その他経費		
食材費	17,226,708	
印刷製本書籍費	2,037,472	
会議・研修費	691,962	
旅費交通費	2,437,656	
通信費	2,137,415	
消耗品費	6,006,115	
修繕費	1,498,014	
水道光熱費	12,729,878	
家賃支出	8,741,000	
賃借料	7,242,306	
減価償却費	968,836	
生活支援CD事業費	2,131,030	
保険料	1,188,571	
街づくり対策費	341,100	
被災地支援費	40,000	
管理諸費	2,695,294	
雑費	1,098,867	
その他経費 計	69,212,224	
(3) 事業・間接費		
給料手当等	37,978,266	
賞与手当	12,635,000	
法定福利費	28,569,754	
家賃・地代家賃	4,800,000	
支払利息	20,170,876	
租税公課	7,141,850	
減価償却費	41,366,442	
事業・間接費 計	152,662,188	
事業費 計		419,799,837

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当等	3,437,004		
有償ボランティア	394,265		
退職金	10,000,000		
通勤交通費	298,940		
福利厚生費	3,325,912		
人件費計	17,456,121		
(2) その他経費			
印刷製本書籍費	329,804		
会議費	349,409		
旅費交通費	440,086		
販売物品費	1,478,081		
通信費	314,308		
消耗品費	411,383		
修繕費	222,548		
水道光熱費	539,484		
家賃支出	379,166		
貸借料	6,546,798		
研修費	1,307,902		
交際費	99,189		
保険料	1,760,218		
管理諸費	4,415,276		
雑費	1,445,373		
その他経費計	20,039,025		
管理費計		37,495,146	
経常費用計			457,294,983
当期経常増減額			-3,416,384
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			-3,416,384
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			-3,486,384
前期繰越正味財産額			119,434,589
次期繰越正味財産額			115,948,205

2018年度 貸借対照表

2019年3月31日現在

NPO法人ぐるーぷ藤

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	1,178,981	
小口現金	982,000	
普通預金	46,857,319	
未収金	55,922,280	
貯蔵品	912,756	
前払金	3,021,785	
立替金	1,155,339	
流動資産合計		110,030,460
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	985,573,356	
建物附属設備	11,661,307	
構築物	31,984,474	
車両運搬具	921,055	
什器備品	5,200,297	
土地	166,519,448	
有形固定資産計	1,201,859,937	
(2) 無形固定資産		
水道施設利用権	4,970,118	
電話加入権	180,600	
ソフトウェア	477,900	
無形固定資産計	5,628,618	
(3) 投資その他の資産		
敷金	1,669,000	
保証金	80,000	
投資その他の資産計	1,749,000	
固定資産合計		1,209,237,555
3 繰延資産		
繰延資産	475,200	
二番館開設準備金	7,748,834	
繰延資産合計		8,224,034
資産合計		1,327,492,049
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	23,569,332	
前受金	112,092,992	
預り金	4,922,772	
預り保証金等	24,579,675	
流動負債合計		165,164,771
2 固定負債		
長期借入金	946,879,073	
擬似私募債	99,500,000	
固定負債合計		1,046,379,073
負債合計		1,211,543,844
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		119,434,589
当期正味財産増減額		-3,486,384
正味財産合計		115,948,205
負債及び正味財産合計		1,327,492,049

(注)

財務諸表の作成は NPO 会計基準 (2010.7.20 2011.11.20 一部改正 NPO 法人会計基準協議会) によっています。

消費税等は税込経理により処理しています。

2018年度 財産目録

2019年3月31日 現在

NPO法人 ぐるーぶ藤

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	現金手許有高	1,178,981
小口現金		982,000
普通預金	7口座	46,857,319
未収金	国保連未収金	40,654,988
	利用者未収金	9,742,494
	その他未収金	5,524,798
貯蔵品	販売物品	150,023
	食材	250,152
	会員用消耗品	512,581
前払金	前払保険料	403,967
	前払いその他	2,617,818
立替金		1,155,339
流動資産合計		110,030,460
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
土地	一番館 藤が岡	166,519,448
建物	一番館 藤が岡	241,671,394
	二番館 柄沢	743,901,962
建物附属設備	一番館 藤が岡	11,067,802
	二番館 柄沢	593,505
構築物	一番館 藤が岡	266,224
	二番館 柄沢	31,718,250
車両運搬具	二番館 柄沢	921,055
什器備品	一番館 藤が岡	1,298,320
	二番館 柄沢	3,901,977
有形固定資産計		1,201,859,937
(2) 無形固定資産		
水道施設利用権	二番館 柄沢	4,970,118
電話加入権		180,600
ソフトウェア		477,900
無形固定資産計		5,628,618
(3) 投資その他の資産		
敷金	藤が岡 駐車場3台ほか	1,669,000
保証金	セコムAED等	80,000
投資その他の資産計		1,749,000
固定資産合計		1,209,237,555
3 繰延資産		
繰延資産	まるだい開業準備費等	475,200
二番館開設準備金		7,748,834
繰延資産合計		8,224,034
資産合計		1,327,492,049
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	従業員給料	18,215,465
	諸経費等	5,353,867
前受金	高齢者住宅入居金等	112,092,992
預り金	社会保険料等	4,922,772
預かり保証金	高齢者住宅敷金等	11,381,675
	グループホーム敷金	2,018,000
	サービス高齢者住宅敷金	11,180,000
流動負債合計		165,164,771
2 固定負債		
長期借入金	横浜銀行 二番館・柄沢 横浜銀行等	703,500,000 243,379,073
擬似私募債	二番館・柄沢	99,500,000
固定負債合計		1,046,379,073
負債合計		1,211,543,844
正味財産		115,948,205

監 査 報 告 書

NPO法人ぐる一ぶ藤
理事長 佐藤 律子 殿

下記の通り監査をいたしましたので、ご報告いたします。

記

- ・ 監査実施日 2019年5月20日
- ・ 立 会 人 理事長 佐藤 律子、会長 鷺尾 公子、事務局長 笹原 美恵子
 経理主任 佐藤 由実
- ・ 監査対象期間 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・ 監 査 方 法 実査及び立会人からの聞き取り

1. 会計監査

- ・ 諸伝票、預金通帳、現金、証憑書類並びに活動計算書、貸借対照表及び財産目録などについて実査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

2. 業務監査

理事長佐藤律子氏及び会長鷺尾公子氏から2018年度事業に関する概要説明を受け、当該事業計画に沿って監査を実施しました。

- ・ 今年度特筆すべきは、13年ぶりに理事長が交代し7代目理事長に佐藤律子氏が就任したことでした。ぐる一ぶ藤の創設を担い介護保険の黎明期から常にぐる一ぶ藤を牽引し一番館・二番館開設を実現した鷺尾前理事長は新たな会長職に就き、理事長と共に運営を担いつつ外部活動に注力するという、まさに二人三脚の一年でした。理事長及び会長のたゆまぬ努力に心からの敬意を表します。
- ・ 開設から2年経過したサービス付き高齢者向け住宅「ぐる一ぶ藤二番館・柄沢」はぐる一ぶ藤ならではのきめ細かな対応とアクア棟の併設が功を奏して予測を超える入居率を達成しており高く評価いたします。
- ・ 新規事業として居住支援法人を立ち上げ認知症カフェを開始するなどの新しい試みを評価し今後の成果に期待いたします。

2019年5月20日

監事 小野 淑子



監事 藤澤 抱一



報告

2019年度事業計画

I. 事業方針

(1) 基本方針

歳をとっても、病気になっても、障がいがあっても安心して暮らせる地域社会をつくるため、特定非営利活動法人として社会的責任を果たすとともに、市民相互の助け合いのまちづくりをめざします。

(2) 運営方針

1. 組織運営

認定NPO法人ぐるーぷ藤は、趣旨書および定款にもとづき事業を行います。理事会の議決を経て事業と活動の方針について討議する運営会議を月1～4回行います。そこでまとめられた提案事項について毎月開かれる部門代表会議で検討し、その後全メンバーを対象に開催される運営報告会で活動を共有します。また、各部門会議において会員の意見交換を行いその内容を事業活動に反映させる等民主的な運営をめざします。

昨年度は18名の新しい仲間を迎えそれぞれの部門で活躍してもらうことができました。新メンバーには5部門での約20時間の新人研修を通してぐるーぷ藤の事業を理解してもらうよう昨年同様努めます。

創設の理念を共有し継承することを大切にして、目標とする自己実現を実践していきます。ホームヘルプを対人援助の基本と捉え、各部門のスタッフが在宅支援を経験することをすすめます。部門間の連携を密にし組織力を強め、スタッフのスキルアップにも一層力を入れます。

また、一番館・二番館運営により見えてきたニーズに対応するため引き続き三番館建設の検討を進めます。

2. 事業・活動部門

2-1 訪問介護（ぐるーぷ藤ホームヘルプ）

ご利用者に寄り添いその方らしく暮らしていただくために心のこもったホームヘルプサービスで在宅生活を支えます。

本来事業では「ワンコイン」の子育て支援、ご利用者らしい生活維持の為に保険外サービス、緊急時の対応等様々なニーズに応える「ぐるーぷ藤らしいサービス」を行います。介護保険事業では、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携して、ご利用者の生活を大切に考え地域で安心して生活をしていただけるようにサービスを行っていきます。また、必要な方には関係機関と調整して次に繋がるような助言を行っていきます。障がい者総合支援事業では、模索しながらも様々な障がいのご利用者の依頼に寄り添っていきます。

今年度も研修・会議等で対人援助の基本の確認を行い、きめ細かい介護力の向上に努めます。また、多職種と連携を図りながら多様な利用依頼に出来る限り応え、必要な時に必要な支援を提供できるように努力します。

2-2 通所介護（アクアデイ菜の花）

今年度もアクアデイ菜の花は運動特化型デイサービスとして個別機能訓練を重視したプログラムを作成しその方に合った最適な運動を提供していきます。会話の中で日々の身体状況を知り、当日の状態を観察・把握しながらご利用者が安心・安全に運動器機能を向上できるように看護師・柔道整復師とスタッフが連携をとり実施します。

アロマセラピストが調合したリラックス効果のあるオイルで、ストレスや体の不調が長引いて疲れた心と体の緊張をときほぐします。独自のコグニサイズとして行う和太鼓は地域の夏祭りの発表をめざして昨年よりレベルアップした演奏に挑戦します。

さまざまな外部研修に参加するとともに、スタッフの専門性を生かした内部研修を行い自己研鑽に励みます。超音波流水プールの効果は市内のケアマネジャー・地域包括支援センター等に知られ、藤沢・鎌倉両市の事業所評価加算を取得した事業所として、今後も情報発信を行い地域の健康寿命を延ばすことに貢献します。

2-3 居宅介護支援（ぐるーぷ藤ケアマネジメント）

地域包括ケアの目標の一つに、認知症になっても疾病を抱えても住み慣れた地域で人生の最期まで住み続けられるものとあります。そしてご利用者による自己選択・自己決定・能力を尊重した自立を支援する介護のケアマネジメントが望まれるようになりました。

独居や認知症高齢者の生活状況悪化による困難な事例の増加にも対応が行える

よう、外部研修や事例検討、研究会への積極的参加と内部研修の充実を図っていきます。ご利用者やご家族が安心して生活ができるよう、きめ細やかなアセスメントと正確なモニタリングを常に心掛け、情報の提供と適切なサービスの提案を行います。

サービス付き高齢者向け住宅では、同一法人のデイサービス、ホームヘルプ、小規模多機能型居宅介護そしてレストランとの連携を図りながらご利用者やご家族の支援をきめ細かくおこない、また近隣の自治会や民生委員等、地域との繋がりを大切にしていきます。

2-4 小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤 藤の花）

在宅生活を基本に「通い・泊り・訪問」を組み合わせたサービスでご利用者とご家族がいきいきと毎日を送れるように365日支援します。ご利用者の個性を大切に、集団でも自分らしく過ごせる環境作りと一人ひとりの意向を尊重した対応を行います。スタッフがご利用者に寄り添い、安心安全で「笑い・喜び・望み」ある生活の継続に努めます。

季節を感じながら美味しい食事をするお出かけデイや多くのボランティアに協力を得て行うカルチャーでご利用者の機能の維持向上につなげます。

同一敷地内のサービス付き高齢者向け住宅の方の利用が増えることが見込まれます。急な体調不良への対応や生活上の相談に乗れるよう、いつでも受け入れができる体制を整えます。

柄沢の地に開設して3年目を迎え地域に開かれた施設として、防災訓練をはじめ近隣の方々が参加しやすいイベント開催等で連携・交流を図り、福祉のかけこみ寺として信頼される存在になります。

今年度も研修に力を入れスタッフの研鑽を図り、小規模多機能型居宅介護の多様な可能性を広げていきます。

2-5 看護小規模多機能型居宅介護（ぐるーぷ藤しがらきの湯）

医療ニーズの高い方や退院後の療養生活を送る方々が安心して在宅で暮らせるよう、「通い」「泊まり」「訪問介護」「訪問看護」「ケアプラン」のサービスを組み立て、在宅の受け皿としてトータルケアを行っていきます。「住み慣れた地域や自宅で最期を迎えたい」ご利用者と、「在宅で看取りたい」というご家族の思いに寄り添い一人ひとりに合わせ柔軟な支援をします。

穏やかな空間の中、生活リハビリを中心とした体力維持に努め、コミュニケーションを多くとることで信頼関係を築き、それぞれの方の笑い・喜び・希望を引き出しサポートしていきます。また、自治会や子供たち、ボランティアの協力を得て外出の機会を多く持ち、地域との交流を図り社会とのつながりを大事にしていきます。

いつでも安心してご利用いただけるように、認知症や疾患の理解、看取りに対

する認識など独自の研修を行い更なるスキルアップをめざします。介護・医療の連携を深めるとともに、地域ネットワークを有効活用し切れ目なく包括的にサポートを行います。

2-6 障がい者グループホーム（藤が岡の家・本藤沢の家）

ゆるやかなもう一つの家族として安心できる生活の場を提供していきます。日常生活の中での困り事を自ら解決する力を引き出し、高齢化による心身の状態の変化に上手に対応していけるよう支援を行っていきます。

◇藤が岡の家

複合施設の中にあるグループホームという特色を生かし、法人内の他部門との協働や、地元自治会のお祭り、防災訓練に参加するなど、様々な人との関わりを持てるよう支援していきます。高齢化による病状の変化が出てきていますが、看護師はじめ他のスタッフの温かい声かけや見守り、医療との連携を行い安定した生活が継続できるよう支援します。

◇本藤沢の家

自立したアパート暮らしにより近い形で支援を受けながら、安心して暮らせるグループホームという特徴を生かし、毎日の夕食提供を中心に入居者・スタッフ一緒に様々な活動を行います。入居者同士の関係性を育み、就労先、日中支援事業所、医療等と連携しながら一人ひとりの生活力を高めて、それぞれの自立に向けてサポートします。

2-7 障がい者相談支援事業（計画サポートぐるーぷ藤）

障がいがある方やそのご家族の相談にのることで、その方なりの問題解決の方向性を共に探り、ご本人の最善の利益を考え意思決定支援を行っていきます。法人内に精神障がい者のグループホームを持つという特色を生かし、主として精神障がい者のサポートを行います。

昨年度新しい相談支援専門員2名を迎えたこともあり障がいの理解を深め、対人援助のスキルを身につける等、多種多様な問題に対応できるよう、これまで以上に研修に力をいれていきます。

出来る限り多くの依頼に対応したいと考えていますが、まずは一つひとつのケースに丁寧に対応することを大切にし、困難な問題については広く連絡会等で様々な職種と連携します。

2-8 高齢者住宅（ぐるーぷ藤一番館）

「終の棲家」としてお住まいの方にその方らしく心豊かに暮らしていただき最期までご家族と、共に寄り添うように努めます。needs（満たされなければならないもの）に応じて介護保険による看護小規模多機能型居宅介護、小規模多機

能型居宅介護、ホームヘルプ、デイサービスなどを利用し、生活の質を維持できるように支援します。また、訪問診療、訪問歯科・歯科衛生士による口腔管理、眼科検診等を通し主治医とコミュニケーションを密にして体調管理も行います。また、暮らしの中で心の充実を図るためにお一人おひとりの、wants（望み、要求）を知り、気持ちや望みを叶えられる機会を提案していきます。季節感を大切にし穏やかな時間が流れるよう、環境づくりに配慮します。

「おもてなしの心」を基本としスタッフ一同、知識・技術の習得に努め、もう一つの家族としての役割を担えるよう意識を高めます。

2-9 サービス付き高齢者向け住宅（ぐるーぷ藤二番館・柄沢）

介護資格を保有しているコンシェルジュと夜間対応の管理人を中心として、お住まいの方々に安心・安全・快適の住まいを提供していきます。お茶会や家族会などのイベントや日ごろのコミュニケーションを大切に、ご入居者に寄り添い個々のご希望に合わせた対応をし、満足度の高いサービス付き高齢者向け住宅の運営を行っていきます。

併設する介護保険事業所の応援を得て、法人の二番目の拠点としての役割を担います。昨年度好評であった防災活動も積極的に実施し、地域包括支援センターなどさらに近隣に広く呼びかけを行い併せてイベントも実施します。また障がい者の働き場としても位置付け、NPOらしい安心を支える福祉施設をめざします。

2-10 厨房及びレストラン オハナ

厨房では管理栄養士・調理師を配置し、高齢者住宅やグループホームにお住まいの方、看護小規模多機能型居宅介護をご利用の方に安全で栄養バランス豊富な料理を提供できるよう努力します。

減塩食・胃腸食等にも素早く対応し皆様の健康の手助けが出来るよう研修を行いさらなるスキルアップに努めます。

レストラン「オハナ」は、地域の高齢者から子育て世代の方やメンバーに、季節感を大切にしたい美味しい料理を提供できるよう努めます。また、引き続き「本藤沢の家」の夕食提供を継続し行います。

2-11 レストラン マハロ

レストランマハロではサービス付き高齢者向け住宅にお住まいの方へ食事を提供し、安全で栄養バランスの良い献立を作ります。また、食事だけでなくマハロに来ることが楽しみになる様コミュニケーションの場所としても努力していきます。好評の手作りデザートを生かしお茶会や親睦会なども開催していきます。また小規模多機能型居宅介護の厨房として介護食・減塩食などにも対応し、

季節感のある献立を楽しんでいただきます。緊急時にはお弁当の提供も行いません。

「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」全体の食を担い、コンシェルジュと連携を取りお住まいの方の日々の様子を見守ります。

2-12 総合相談窓口

総合相談窓口では看護師・保健師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・ケアマネジャー等が常駐し、地域の駆け込み寺として福祉・医療に関するあらゆる相談に応じます。地域の福祉活動をしてきた経験を生かし、緊急のSOSに24時間対応するとともに、必要に応じて弁護士・民生委員・地域包括支援センター・地域ささえあいセンター「ヨロシク♪まるだい」・子どもの生活支援事業「こども♪まるだい」・認知症カフェ「オレンジ・まるだい」・居住支援チーム「住まいる藤」等に橋渡しをする、NPO版地域包括支援センターの役割を担います。また、税理士による税務相談や保健師・看護師による健康相談も続きます。これからも「福祉のまちづくり」をめざす一環として、相談者に向き合いながら丁寧に対応します。

2-13 地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

「ヨロシク♪まるだい」では300円の温かい食事を通して地域の方々が気軽に立ち寄れる憩いの場・居場所を提供していきます。年齢や障がいに関係なく、誰もが集い、楽しむ場所であり、地域の中で孤立したり、生活に不自由したりする人に手助けをする場所です。また働く意欲のある人の働く場でもあります。

終活セミナー、認知症サポーター養成講座、おしゃべり会、認知症カフェ「オレンジ・まるだい」は地域の中で顔の見える関係を作り、誰もが担い手になることを目的に行っていきます。

生活支援コーディネーターとして利用者の相談に対応し、ニーズを把握、社会資源の発掘とマッチングに努めます。地域包括支援センター、民生委員、自治会員、行政等と連携し、藤沢地区支え合い会議、生活支援コーディネーター会議等では情報交換、意見交換を行い他の縁側事業者と相互に協力し、協働して地域作りに努めます。

2-14 子どもの生活支援事業（こども♪まるだい）

地域の温かい環境の中で子どもたちに、「安心して過ごせる居場所」、保護者には「安心して子どもを託せる場所」を提供していきます。皆で楽しく食事する事で、成長に必要な栄養を補うとともに精神的満足感が得られ、スタッフと一緒に食事作り等を通して基本的な生活習慣を身につけられるよう支援していきます。

学生ボランティアやスタッフと一緒に宿題をしたりゲームを楽しみます。季

節毎の様々なイベントや農福連携事業等を通じて、地域との繋がりを子ども達自身が感じられ、地域の中で健やかに成長できるよう支援していきます。

3. 管理部門

ぐる一ふ藤総体の事務局として管理運営に責任をもち効率的に業務を遂行できるよう努めます。各部門の請求業務、官公庁への各種届出、他団体や業者との折衝を確実にを行います。システム強化を図り、パソコンに関するトラブルや設備などの修理が生じた時には速やかに対応し円滑なる業務遂行をめざします。予算の執行にあたっては、人員配置・物品管理・水道光熱費すべてにおいて無駄を省き経費節減に配慮します。

今年度から始まった働き方改革のひとつである有給休暇の確実な取得を促していきます。事業拡大によって増加する個人情報保護には、なお一層配慮し、セキュリティの管理を徹底します。

3-1 会員（メンバー）と福利厚生

まちづくりの理念に賛同する仲間を増やします。それぞれのメンバーの資格や能力を生かして、皆が自分らしく、はつらつと働ける多様な職場づくりをめざし自己実現の場をつくります。多くのメンバーが参加し親睦を深められる交流会の開催、有給休暇の取得の推進、スタッフの腰痛予防研修、健康診断、各種食事代補助、休業補償など一層の福利厚生の充実に努めます。

3-2 広報活動

地域に定着してきた広報誌「花どけい」はまちづくりの情報発信の媒体として、ご利用者や見学者に資料として提供するとともに各種講演会資料として有効活用していきます。

「ぐる一ふ藤二番館・柄沢」入居希望者や問い合わせの方、「アクアデイ菜の花」をご検討の方、居住支援を必要とされている方、そのご家族やケアマネジャーのニーズにも合わせた資料を準備し、配布します。また、PR効果の高いメディアを選定し、広告を企画・掲載していきます。

ホームページを一新し、分かりやすくタイムリーに藤の活動や情報を発信していきます。更に一番館のパンフレットを作成し、他の部門も内容の充実ははかります。メディアの取材等を通し、ぐる一ふ藤の街づくりを広報していきます。

4. 研修プロジェクト

ご利用者のニーズを的確に把握し柔軟に対応するためには、メンバー一人ひとりに高度なスキルが要求されます。また、日々の業務の中で各メンバーが目標に向かって自己実現を図ることが藤全体の介護の質を高めていくと考え、今年

度も『理念と意思の共有』『スキルアップ』『新しい介護』を学びの3本柱として研修プロジェクトを引き続き設置します。

メンバー及び地域社会のニーズに合わせた介護技術や幅広い知識の習得を目的に研修計画を策定するとともに、キャリアパスに対応した体系的・継続的な研修を組み立てていきます。

27回を迎える三重大学准教授竹内佐智恵先生の研修、医療公開講座等に加え、リハビリ方法など地域の方へ向けた新たな研修も計画します。

5. 安全衛生委員会

産業医の協力を得て保健師を中心に定期的に委員会を開催し、事業所の職場環境および会員の健康保持について情報の共有化を図ります。腰痛予防のため各部門と協力しながら予防体操を行います。また「心の相談」窓口として三重大学准教授竹内佐智恵先生の協力をいただき、会員が直接相談できることを再周知します。熱中症、食中毒、感染症（ノロウイルス、インフルエンザ等）、ストレスの予防や会員の危険防止及び健康障害防止の基本的な対策について検討します。

6. 防災委員会

昨年度に引き続きぐる一ふ藤全体で防災対策の整備と取り組みを企画検討する目的で、各部門からの代表者を構成員として防災委員会を設置します。

一番館・二番館合同訓練では消防署の協力を得て消防訓練を行います。またリスト化された防災用品・備蓄食料の在庫管理を行ない、計画的に更新します。課題であった災害本部の設置を含む法人防災マニュアルを作成していきます。

一番館・二番館ともに地域の防災拠点としての役割を担うと共に、ぐる一ふ藤全体で、過去の大規模災害等の教訓を生かし災害についての知識を身につけ、防災意識の向上に努めます。

7. 居住支援チーム 住まいる[▲]藤

2018年9月より高齢者、障がい者、低所得者、子育て世帯等の民間賃貸住宅への入居に関わる情報提供、相談、見守り等の入居支援・生活支援を行う法人として神奈川県指定を取り国土交通省の受託事業として始めました。今年度は受託事業の2年目・最終年となります。

昨年度に引き続きケアマネジャー、障害相談支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、宅地建物取扱主任者、藤沢市生活支援コーディネーター等の資格を持つ10名のスタッフが、ぐる一ふ藤総体の協力を得て、話し合いをしながら住宅確保要援護者への住まい探しの活動を進めていきます。特にマッチングの後の入居者の生活スタイルに最適な居住継続支援を探り、安定

した生活を継続できるよう支援していきます。

学習会、セミナーを開催し居住支援についての相互理解を深め、広報誌「花どけい」、ホームページ、地域のメディア等を駆使し多くの方に活動の周知を図ります。市役所関係各課や社会福祉協議会、地域包括支援センター、障害サービス法人、不動産店等と連携し、安心して住める街づくりネットワークを構築していきます。

8. 外部活動

幼児教室どんぐり園、コンフォール藤沢自治会、柄沢町内会、ボランティアすみれ及び他団体と連携しながら地域に根ざした活動を行います。今年度も地道な活動をするNPOや地域の団体・行事等に「まちづくり対策費」を活用しそれぞれの活動を支援します。

諸団体での役割は以下の通りです。

- ・ 認定NPO法人市民福祉団体全国協議会 常務理事
- ・ 一般社団法人市民福祉支援協議会 代表理事
- ・ 民間介護事業推進委員会 委員
- ・ 藤沢市個人情報保護制度運営審議会 委員
- ・ 藤沢市住まいと暮らし連絡会 委員
- ・ 藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会 委員
- ・ ふじさわ福祉NPO法人連絡会 代表
- ・ 藤沢市相談支援連絡会 委員

介護保険はじめ福祉に関して市民の立場に立った提案をしていきます。さらに各種講師等の機会を通して、ぐるーぷ藤の活動を広く紹介するとともに啓発活動を行います。

Ⅱ. 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 家事、介護、育児等に関する生活支援サービスおよび相談事業

●本来事業

- ① 内 容：高齢者、障がい者などの介護、家事援助および産後、育児等の生活支援および相談
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市およびその近接地域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：40名
- ⑥ 事 業 費：¥2,072,000

(2) 地域福祉の向上に向けた学習および研修、啓発を図る事業

●介護講座等

- ① 内 容：介護講座
- ② 日 時：6月、7月、11月
- ③ 場 所：ぐるーぷ藤一番館・藤が岡、ヨロシク♪まるだい
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対 象 者：藤会員およびさわ会員、地域の方
- ⑥ 研 修 費：¥210,000

(3) 介護保険法にもとづく事業

●訪問介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：75名
- ⑥ 事 業 費：¥12,770,200

●通所介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者への通所介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：17名
- ⑤ 対 象 者：230名
- ⑥ 事 業 費：¥20,376,000

●居宅介護支援事業

- ① 内 容：介護保険対象者への居宅介護支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：100名
- ⑥ 事 業 費：¥8,934,000

●小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：介護保険対象者に「通い」を中心として「泊まり」「訪問」を組み合わせたサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名（登録定員）
- ⑥ 事 業 費：¥41,898,000

●看護小規模多機能型居宅介護事業

- ① 内 容：医療依存度の高い介護保険対象者に看護を組み合わせた「通い」を中心として「泊まり」「訪問」「訪問看護」の提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：29名（登録定員）
- ⑥ 事 業 費：¥54,291,000

(4) 高齢者・障がい者等に対する居宅介護支援および施設サービス事業

●高齢者住宅

- ① 内 容：高齢者に終の棲家としての住宅及び生活支援サービス提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：30名
- ⑤ 対 象 者：21名
- ⑥ 事 業 費：¥36,714,000

●サービス付き高齢者向け住宅

- ① 内 容：高齢者の居住の安定確保、安心を支えるサービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：村岡地区
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥11,899,600

●居宅介護サービス事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への訪問介護サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：50名
- ⑤ 対 象 者：65名
- ⑥ 事 業 費：¥12,582,600

●障がい者グループホーム

1. 藤が岡の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：6名
- ⑥ 事 業 費：¥5,677,000

2. 本藤沢の家

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者へのグループホームの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：善行地区
- ④ 従事者人員：7名
- ⑤ 対 象 者：11名
- ⑥ 事 業 費：¥13,506,000

●障がい者相談支援事業

- ① 内 容：障がい者総合支援法対象者への相談支援サービスの提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：50名
- ⑥ 事 業 費：¥2,027,000

(5) 安心して住める地域社会の実現に貢献する事業

●地域ささえあいセンター（ヨロシク♪まるだい）

- ① 内 容：1.生活支援コーディネーターが中心になり誰もが気軽に立ち寄れる通いの場を提供し、地域資源等と連携しさまざまなニーズの把握に努める（委託事業）
2.まるだい食堂での食事の提供やミニディ、介護・医療相談等通いの場の運営（補助金事業）
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：20名
- ⑤ 対 象 者：多数
- ⑥ 事 業 費：¥15,464,100

●子どもの生活支援事業（こども♪まるだい）

- ① 内 容：子供の生活支援事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：25名
- ⑥ 事 業 費：¥4,069,000

(6) レストラン・厨房事業

●レストランオハナ・厨房事業

- ① 内 容：ぐるーぷ藤利用者への食事提供
一番館で働くスタッフおよび一般の方へのレストラン運営
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：15名
- ⑤ 対 象 者：多数
- ⑥ 事 業 費：¥25,922,000

●レストランマハロ・厨房事業

- ① 内 容：サ高住にお住まいの方、ぐるーぷ藤 藤の花利用者、
二番館で働くスタッフ、その他近隣の方への食事提供
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：村岡地区
- ④ 従事者人員：10名
- ⑤ 対 象 者：80名
- ⑥ 事 業 費：¥13,532,000

(7) まちづくり活動を行う団体等への支援事業

●まちづくり対策費

- ① 内 容：まちづくり活動を行うNPO法人、障がい者団体等や被災
地支援活動を行う団体等に対する寄附事業
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢市域、他被災地等
- ④ 従事者人員：5名
- ⑤ 対 象 者：10～15団体
- ⑥ 事 業 費：¥360,000

(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

●総合相談窓口

- ① 内 容：福祉・医療に関する相談業務
- ② 日 時：通年
- ③ 場 所：藤沢地区
- ④ 従事者人員：10名
対 象 者：多数

※各事業費に事業間接費は含まず

2019年度活動予算書（特定非営利活動に係わる事業）

2019年4月1日から2020年3月31日まで

NPO法人ぐるーぷ藤

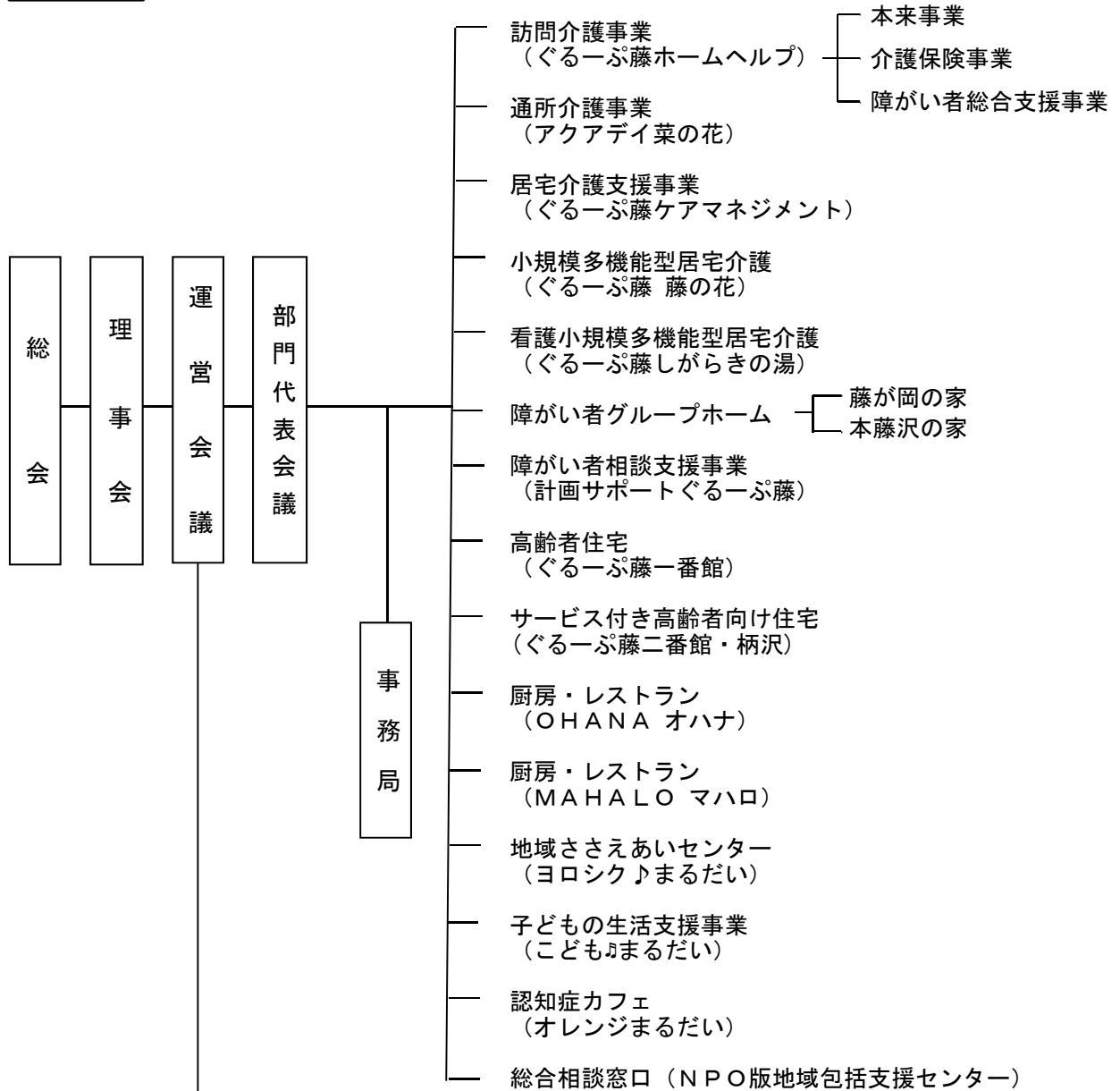
（単位：円）

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
藤会員年会費等収入	15,000	
さわ会員年会費等収入	70,000	
賛助会員年会費等収入	15,000	100,000
2 受取寄付金		
寄付金収入		2,500,000
3 受取助成金等		
助成金・補助金収入	3,103,000	
委託金収入	8,408,600	11,511,600
4 事業収益		
事業収入		448,714,000
5 その他収益		
雑収入		3,775,000
経常収益 計		466,600,600
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当等	206,056,800	
有償ボランティア	3,361,000	
通勤交通費	3,001,000	
福利厚生費	1,170,000	
人件費 計	213,588,800	
(2) その他経費		
食材費	16,751,000	
印刷製本書籍費	2,276,000	
会議・研修費	633,000	
旅費交通費	2,637,000	
通信費	1,924,000	
消耗品費	6,682,000	
修繕費	1,620,000	
水道光熱費	11,502,000	
家賃支出	8,984,000	
賃借料	6,962,000	
広告宣伝費	60,000	
減価償却費	888,000	
生活支援CD事業費	2,986,000	
保険料・管理諸費	3,572,700	
街づくり対策費	360,000	
雑費	668,000	
その他経費 計	68,505,700	
(3) 事業・間接費		
給料手当等	43,364,000	
賞与手当	11,000,000	
法定福利費	28,850,000	
家賃・地代家賃	4,800,000	
支払利息	20,185,000	
租税公課	7,107,000	
減価償却費	40,614,000	
事業・間接費 計	155,920,000	
事業費 計		438,014,500

2	管理費			
(1)	人件費			
	給料手当等	3,666,000		
	有償ボランティア	384,000		
	通勤交通費	496,000		
	福利厚生費	3,200,000		
	人件費計	7,746,000		
(2)	その他経費			
	印刷製本書籍費	272,000		
	会議費	383,000		
	旅費交通費	652,000		
	販売物品費	960,000		
	通信費	610,000		
	消耗品費	632,000		
	修繕費	400,000		
	水道光熱費	1,482,000		
	家賃支出	420,000		
	賃借料	6,866,400		
	研修費	765,000		
	交際費	100,000		
	保険料	1,553,000		
	管理諸費	4,232,000		
	雑費	1,400,000		
	その他経費計	20,727,400		
	管理費計		28,473,400	
	経常費用計			466,487,900
	当期経常増減額			112,700
III	経常外収益			0
	経常外収益計			0
IV	経常外費用			0
	経常外費用計			0
	税引前当期正味財産増減額			112,700
	法人税、住民税及び事業税			70,000
	当期正味財産増減額			42,700
	前期繰越正味財産額			115,948,205
	次期繰越正味財産額			115,990,905

資料

2019年度ぐるーぷ藤組織図



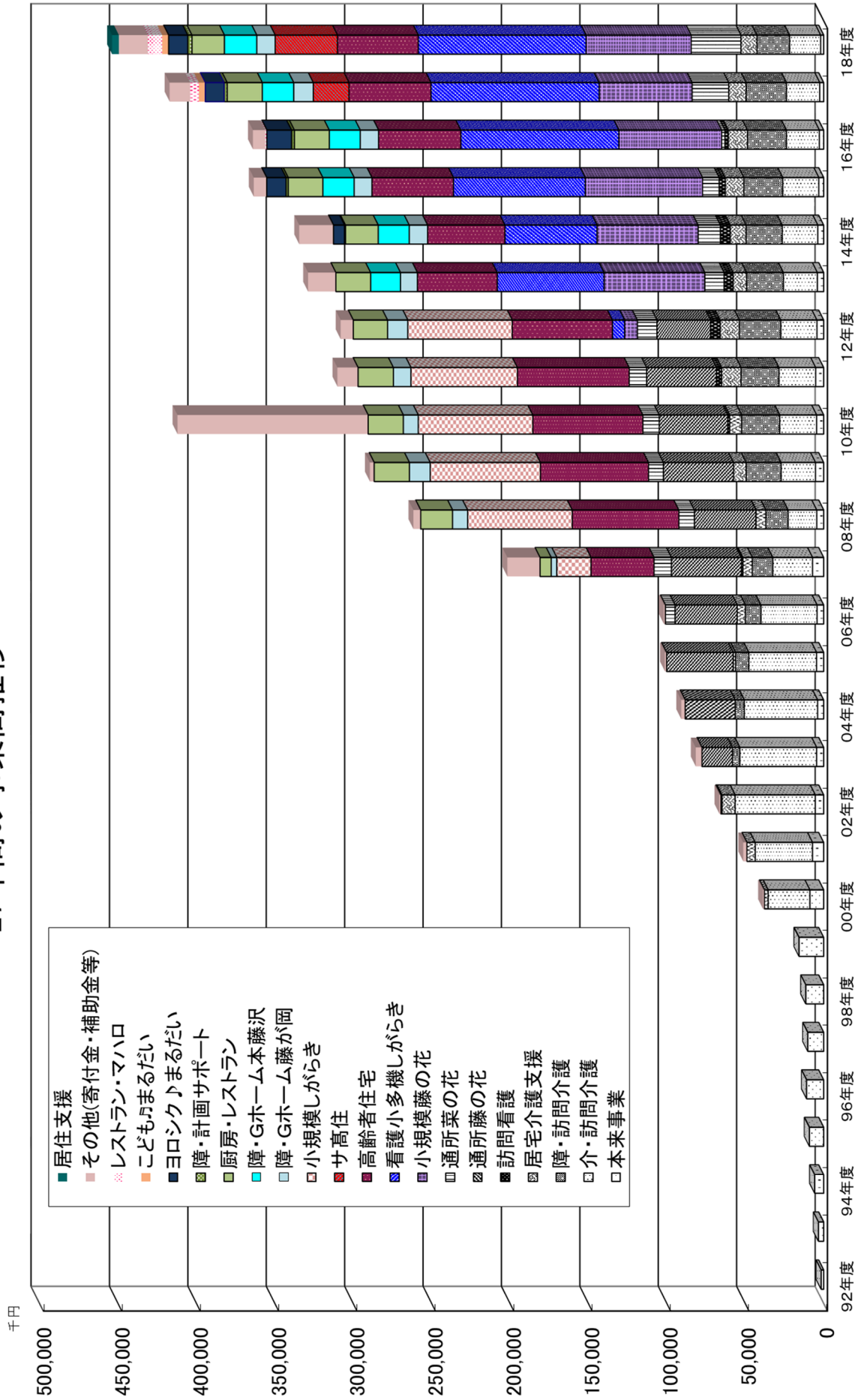
- 居住支援チーム(住まいる藤)
- 安全衛生委員会
- 研修プロジェクト
- 花どけい編集委員会
- 交流会企画委員会
- 防災委員会

※ボランティアすみれ

◆メンバー構成◆ 2019.5.1 現在

年代	人数	割合
20代	5名	3%
30代	7名	5%
40代	34名	23%
50代	40名	26%
60代	43名	28%
70代	19名	13%
80代	3名	2%
合計	151名	

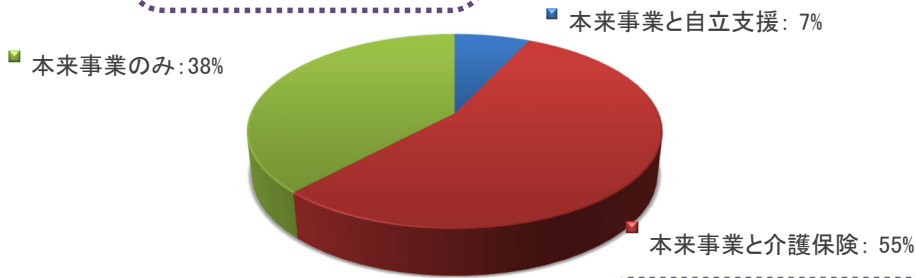
27年間の事業高推移



ご利用者 分布

(2019年3月)

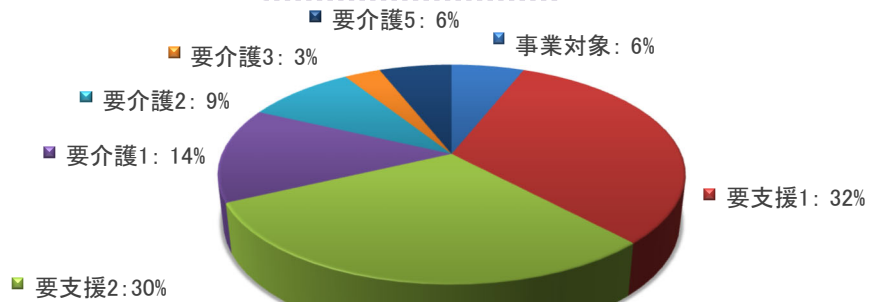
訪問介護(本来事業)



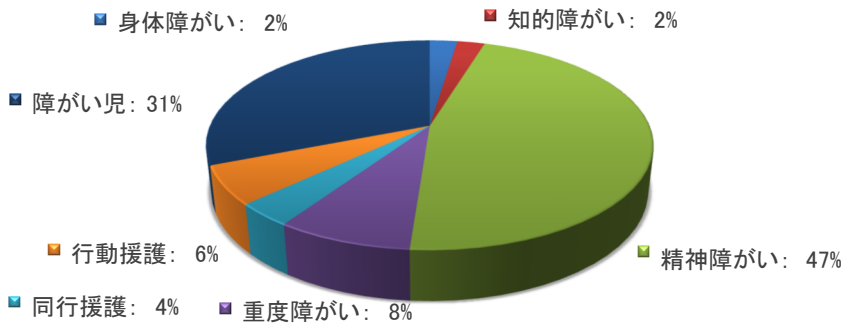
年齢	%
30歳代	13%
40歳代	4%
50歳代	2%
60歳代	9%
70歳代	24%
80歳代	33%
90歳代	15%

訪問介護(介護保険)

年齢	%
60歳代	6%
70歳代	22%
80歳代	54%
90歳代	17%
100歳代	1%



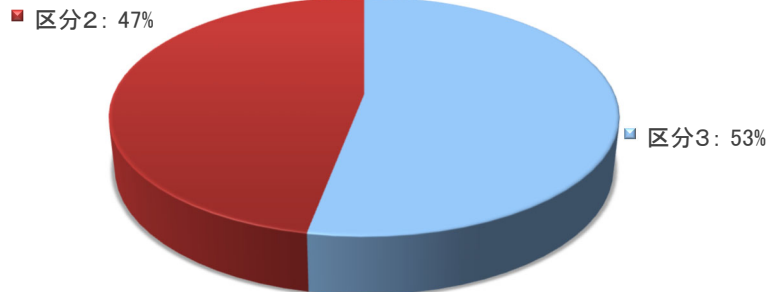
訪問介護(障がい者総合支援)



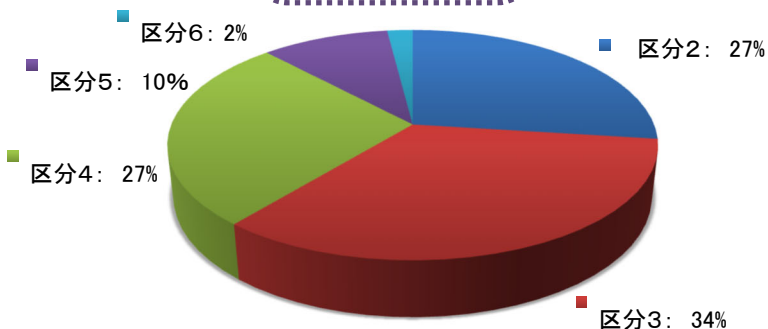
年齢	%
小学生以下	12%
10歳代	35%
20歳代	7%
30歳代	7%
40歳代	11%
50歳代	17%
60歳代	8%
70歳代	3%

障がい者グループホーム

年齢	%
20歳代	6%
30歳代	12%
40歳代	23%
50歳代	47%
60歳代	12%

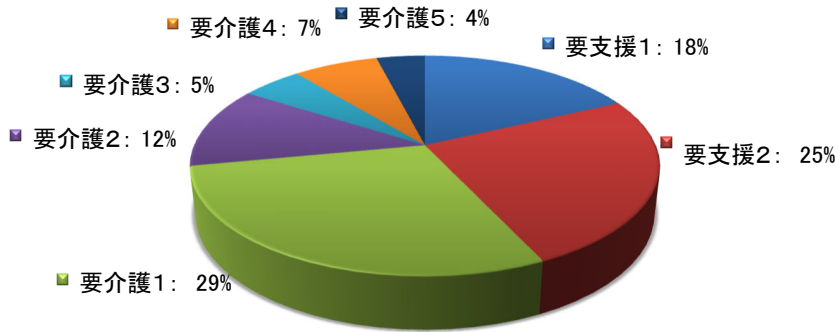


計画サポート



年齢	%
20歳代	10%
30歳代	14%
40歳代	32%
50歳代	34%
60歳代	10%

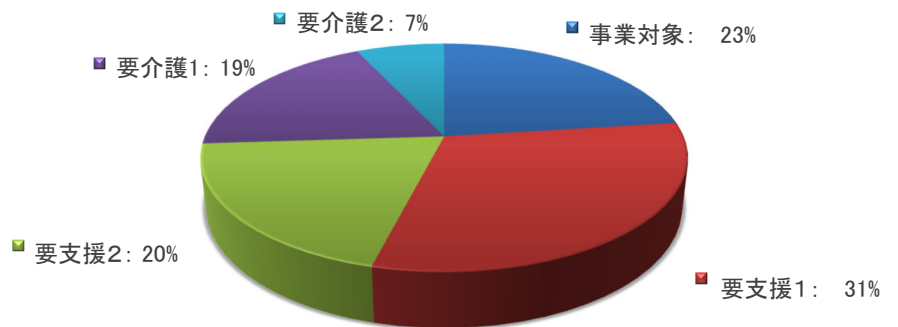
居宅介護支援



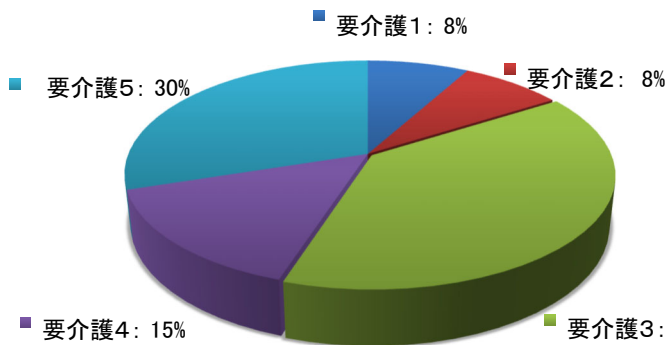
年齢	%
50 歳代	2 %
60 歳代	5 %
70 歳代	22 %
80 歳代	50 %
90 歳代	20 %
100 歳代	1 %

通所介護(アクアデイ菜の花)

年齢	%
60 歳代	8 %
70 歳代	33 %
80 歳代	54 %
90 歳代	5 %



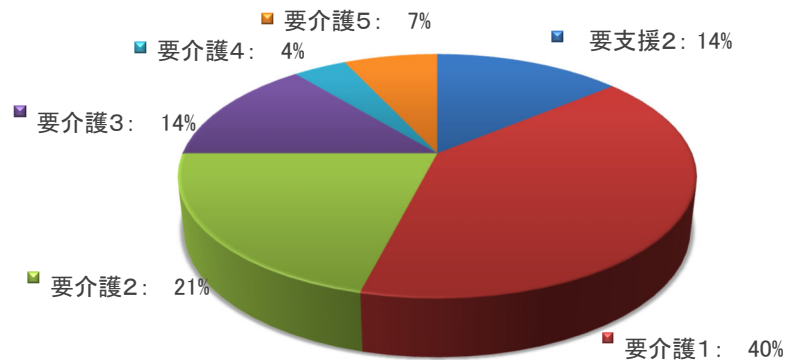
看護小規模多機能型居宅介護(しがらきの湯)



年齢	%
70 歳代	7 %
80 歳代	55 %
90 歳代	35 %
100 歳代	3 %

小規模多機能型居宅介護(藤の花)

年齢	%
60 歳代	4 %
70 歳代	14 %
80 歳代	50 %
90 歳代	32 %



2018年度 全体研修・部門別研修

		月 日	名 称
全体 研修・ 部門 外 研修	内部 研修	通年	新入会研修
		6月23日	藤・すみれ共催「家族信託」
		8月11日	ハラスメント研修
		8月18日	竹内先生の介護講座
		8月21日	せっけん講習会
		9月8日	法令遵守
		9月7日～10月11日 (6回)	スキルアップ研修
		9月7日	精神保健研修 心の病～身近な病気～
		10月24日	キューピー食事講座
		11月10日	個人情報とプライバシー
		11月5～21日 (7回)	理事長と語る会
		12月8日	接遇
		12月15日	救命救急講習
		3月9日	就業規則について
		外部 研修	4月27日
	5月12日		認知症予防セミナー
	5月22日		移乗介助研修
	6月28日		「在宅医療・介護連携」多職種研修会～高度急性期病院と地域との連携～主催：藤沢医師会
	9月12日		身体拘束廃止のリスクマネジメントセミナー 主催あいおいニッセイ同和損保
	9月19日		災害時の減災の為に事業所が準備しておく事、知っておく事 主催：藤沢市介護保険事業所連絡会
	9月20日		福祉車両安全運転講習会 主催：日本福祉車両協会
	9月20日		「在宅医療・介護多職種連携」認知症があっても「よく生きるために」主催：藤沢市医師会
	10月2・3・4・5日		ノロウイルス等感染症研修会 主催：藤沢市保健所
	11月15日		「介護のための摂食、嚥下入門」食事介助編 主催：藤沢市介護保険事業所連絡会
	12月8日		第1回居住支援セミナー
	1月30日		第2回居住支援セミナー
	10月24日・2月6・13日		かわせみ体操 主催：藤沢市役所健康増進課
	2月6日	介護離職についてのフォーラム	
2月10日	尿失禁に関するセミナー「私がなぜ？ どうして！尿もれ」		
2月19日	介護サバイバルに勝ち残る経営セミナー		
3月5日	藤沢市小規模連絡会研修デンマークの介護から考える”当たり前”ってなんだろう？		
3月12日	認知症体験会 VR体験 主催パナソニックエイジフリー		

		月 日	名 称
部門別研修	ホームヘルプ	4月～3月(12回)	ヘルパー会議研修「ケアマニュアル、研修計画の確認、認知症について、感染症等の事例、予防について」
		3月9日	「尊厳を支え自立支援に配慮した介護技術」 どっこいしょ！と言わない「座位からの立ち上がり」
		10月19日	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等指導講習会
	一番館	5月～3月(11回)	スタッフ会議研修「高齢者虐待とは」他
	菜の花	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「事故発生予防又はその再発防止」他
		8月8日	認知症予防のためのコグニサイズを教える研修会 主催:神奈川県高齢福祉課
		8月4日	知子先生の介護予防運動講座 主催:菜の花
		6月20日	指定介護保険事業者新規セミナー 主催:神奈川県
		2月21日	栄養・食事よもやま話 主催:藤沢市介護事業所連絡会
	藤の花	4月～3月(11回)	スタッフ会議研修「事故発生予防又はその再発防止」
		4月～3月(11回)	スタッフ会議独自研修「地域資源」他
		8月3日	多職種研修会「病院から地域へ」
		1月26日	回想法実践講座
	しがらきの湯	4月～3月(10回)	スタッフ会議研修 「非常災害時の対応」他
		4月～3月(10回)	しがらき独自研修 癌末期の方へのアプローチ 他
		4月26日	嚥下と誤嚥性肺炎を考える会 主催:藤沢御所見病院
		5月20日	「看取り」での経験を語る会
		6月26日	高齢者のからだと医療を考える勉強会～認知症～ 主催:藤沢在宅クリニック
		6月27日	「床ずれはなぜできる」 主催:なぎさ診療所
		6月29日	「在宅医療・介護多職種連携」医師のすそ野を広げる 主催:藤沢市医師会
		8月22日 10月24日	看護小規模多機能在宅介護セミナー 主催:かながわ福祉サービス振興会
		10月25日	「在宅医療・介護多職種連携」デイサービス・ショートステイ中の医療・介護連携
		11月16日	緩和ケア研修 「癌患者の食事、せん妄のケア」
		12月2日	「看取り」での経験を語る会 主催:クローバーホスピタル
		12月8日	緩和ケア病棟見学会及び連携について 主催:湘南中央病院
		3月5日	体験から学ぶ褥瘡予防 主催:医療法人長谷川会 湘南ホスピタル
厨房	4月～2月(6回)	厨房部門研修	
	5月28日	衛生講習会	
	6月23日	衛生講習会	
オマハナ・マハナ・ロ・	4月～3月(6回)	部門研修	

		月 日	名 称
部門別研修	藤が岡の家・本藤沢の家	4月～3月(2回)	家ミーティング研修「他事業所見学」「障害支援のポイント」
		6月7日	第1回障害者GH職員研修「障害者グループホーム制度の理解」
		6月29日	第3回障害者GH職員研修「自閉症スペクトラムを中心とした発達障害の理解」
		7月5日	藤沢市住まいと暮らし連絡会主催「(社福)創施設見学」
		7月18日	第4回障害者GH職員研修「グループホーム職員のストレスマネジメント」
		8月10日	第5回障がいGH職員研修「障がい者グループホームの虐待防止」
		10月25日	職員研修「利用者から見た意思決定支援～グループホーム生活の場面で配慮してほしいこと」
		11月17日	藤沢市住まいと暮らし連絡会主催「福祉現場におけるリスクマネジメント～リスクはどこにある？日ごろの備えと対策～」
		12月13日	神奈川県自立支援センター主催「横浜刑務所見学」
		1月10日	藤沢市住まいと暮らし連絡会研修「権利擁護」
		1月23日	サービス管理責任者研修
		2月7日	藤沢市住まいと暮らし連絡会主催「高齢者施設見学」
		2月13日	神奈川県サポート事業説明会
		2月20日	障害者権利条約講演会
		2月21日	H30年度障害福祉サービス事業者等指導講習会
		2月22日	神奈川県社会福祉協議会主催「障害者権利条約」
		2月23日	藤沢市地域生活支援連絡会主催 映画「夜明け前」上映会と監督対談
		3月7・8日	神奈川サービス管理責任者研修 主催:かながわ福祉サービス振興会
		3月9日	「不登校の現状と課題」 主催:社会福祉協議会
	計画サポート ぐるーぷ藤	4月26日	グループスーパービジョン・えぼめいく
		6/11～11/21	「神奈川県相談支援従業者研修(全9回)」主催:県障害福祉課
		11月15日	「精神障害者が65才になる時」主催:藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会
		1月17日	藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会主催「親亡き後の為に今できること」
		3月11日	藤沢病院地域協働会議「精神科デイケアの果たす役割について」
	事務局	4月～3月(6回)	事務局研修「社会保険と雇用保険について」他
		5月17日	経理研修
		9月13日	介護&看護EXPO展示会
		9月26日	処遇改善加算セミナー 主催:(公財)介護労働安定センター
		11月19日	NDソフトウェアデモ
		11月26日	労働条件改善セミナー 主催:全国社労士会連絡会
		1月30日	障がい者就労支援研修会 主催:労働基準監督署

		月 日	名 称
部門別研修	ぐるーぷ 藤ケア マネジ メント	4月～3月(6回)	ミーティング研修「福祉用具について」他
		4月19日	「他職種連携推進研修会」 主催:薬剤師会
		5月15日	介護支援専門員資質向上研修 主催:鶴沼東・南包括
		5月24日	藤沢市居宅介護支援事業所連絡会総会・研修
		5月30日	藤沢市認定調査研修 主催:藤沢市
		6月27日	人生の最終段階における医療・ケアのプロセスに関するガイドライン勉強会 主催:クローバーHP
		6月28日	人生の最終段階における医療・ケアのプロセスに関するガイドライン勉強会 主催:湘南慶育病院
		7月4日	民生委員との連携 主催:ケアマネサロン 善行包括
		7月12日	成年後見人制度について 主催:藤沢東部包括
		7月17日	支援困難ケースへの取り組み方 主催:ケアマネサロン 片瀬包括
		7月25日	みんなで考える平穏死 主催:クローバーホスピタル
		7月27日 8月27日	ケアプラン点検研修 主催:ケアマネリーダー事業
		7月27日	高齢者の自殺対策～理論と実践～主催:鶴沼東包括
		8月22・28日	介護支援専門員新任者研修 主催:藤沢市
		9月26日	資質向上研修「医療連携を学ぶ」 主催:居宅介護支援事業所連絡協議会
		11月5日	「地域ケア会議で何？」 主催:鶴沼東・南包括
		11月15日	「地域包括ケア病棟について・認知症ケア病棟について」 主催:村岡包括
		12月19日	地域ケア会議 主催:藤沢東部・西部包括
	12月21日	アセスメントに重要な面談の「聞く」「話す」を見直す 主催:事業所連絡協議会	
	2月15日	「生活に困窮する高齢者や家族の支援」主催:村岡地区ケアマネ連絡会	
	ヨロシク まる だい	11月14日	生活コーディネーターの役割・活動の理解 主催:藤沢市地域推進ケアシステム
		11月21・29日	コーディネーター第二層初心者研修
		12月22日	生活支援コーディネーターフォローアップ研修
		2月5日	生活支援コーディネーターフォローアップ研修
	「居住 支援 チーム 」 「住ま いる 藤」	11月1日	かながわ生活困窮者ネットワーク研修会 主催:神奈川県・藤沢市・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク
		11月8日	居住支援研修 講師:NPO法人ワンエイド 主催:住まいる藤
		11月12日	セーフティーネット制度説明会講師:鷲尾 主催:神奈川県居住支援協議会
		12月4日	「地域で繋がる自立支援と居住支援」主催:神奈川県居住支援協議会
		12月18日	居住支援セミナー 主催:ホームネット㈱
		12月11・17日1月25日	セーフティーネット制度説明会 主催:神奈川県居住支援協議会

年間活動一覽

2018年4月～2019年3月

月	日	内部活動	日	研修、学習	日	外部活動
4月	9	ホームヘルプミーティング	19	「他職種連携推進研修会」 主催：薬剤師会	12	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	11	ヨロシクトまるだいきッチンボラスタッフ会議	26	嚔下と誤嚥性肺炎を考える会 主催：藤沢御所見病院	12	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	12	ヨロシクトまるだいきーディネーター会議	26	グループスーパービジョン・えぼめいく	17	藤沢地区協議体打合せ
	13	運営会議	27	厚生労働省介護保険説明会	17	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	14	しがらきスタッフ会議			19	一般社団法人市民福祉協議会（CWC）理事会
	17	厨房会議			20	藤沢地区協議体打合せ
	18	部門代表会議			20	生活支援コーディネーター連絡会
	19	税理士打合せ			20	湘南オレンジカフェ連絡会
	19	第1回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議			24	認定NPO法人市民福祉団体全国協議会（市民協）常務理事会
	21	第1回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議			26	障がい者相談支援連絡会・えぼめいく
	25	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング			27	民間介護事業推進委員会
	25	厨房ミーティング			28	コンフォール藤沢自治会総会
	26	ケアマネミーティング				
	26	二番館コンシェルジュミーティング				
	26	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
5月	2	厨房ミーティング	12	第2回認知症予防セミナー	10	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	4	運営会議	15	介護支援専門員資質向上研修 主催：鶴沼東・南包括	10	障害児者相談支援に関する説明会
	7	ホームヘルプミーティング	17	経理研修	12	第2回認知症予防セミナー 講師
	9	部門代表会議	20	「看取り」での経験を語る会	15	生活支援コーディネーター連絡会
	10	こどもまるだいきーディネーター会議	22	移乗介助研修	15	江戸川総合人生大学 講師
	12	第2回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	24	藤沢市居宅介護支援事業所連絡会総会・研修	16	22,31 市民協経営会議及び理事会
	14	事務局会議	28	衛生講習会	16	藤沢市ケアプラン点検事業説明会
	15	一番館スタッフ会議	30	藤沢市認定調査研修 主催：藤沢市	17	藤沢市精神障がい者地域生活支援連絡会
	16	研修プロジェクト			24	一般社団法人市民福祉協議会理事会
	17	ヨロシクトまるだいきーディネーター会議			31	藤沢地区協議体打合せ
	21	2017年度会計・業務監査				
	23	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	24	交流会企画委員会				
	25	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	31	ケアマネミーティング				
	31	税理士打合せ				
6月	1	運営会議	16	市民協総会シンポジウム「住宅・居宅を基本に地域福祉を作る」	6	13, 20, 27 市民協福祉相談
	2	第14回(通算第26回)通常総会、第1回理事会	7	第1回障害者GH職員研修「障害者グループホーム制度の理解」	7	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	3	厨房ミーティング	11	～11/21「神奈川県相談支援従事者研修(全9回)」 主催：県障害福祉課	13	生活支援コーディネーター連絡会
	4	ホームヘルプミーティング	20	通所介護指定介護保険事業者新規セミナー 主催：神奈川県	14	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	6	ヨロシクトまるだいきッチンボラスタッフ会議	22	「精神障がい者支援ポイント」講師：えぼめいく 吉田展章氏	16	市民協総会
	6	部門代表会議	23	「老後を安心して暮らすために～家族信託についてパート2～」	19	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	9	第3回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議		主催：ボランティアすみれ、共催：研修PJ	29	障がい者相談支援連絡会・えぼめいく
	10	花どけいNo. 89発行	26	「高齢者のからだと医療を考える勉強会」 主催：藤沢在宅クリニック	29	民間介護事業推進委員会
	11	事務局会議	27	人生の最終段階における医療・ケアの勉強会 主催：クローバーホスピタル		
	12	防災委員会	27	「床ずれはなぜできる」主催：なぎさ診療所		
	17	一番館運営懇談会	28	「在宅医療・介護連携」多職種研修会		
	18	計画サポートミーティング		～高度急性期病院と地域との連携～ 主催：藤沢医師会		
	20	厨房会議	28	医療・ケアのプロセスに関するガイドライン勉強会 主催：湘南慶育病院		
	21	ケアマネミーティング	29	多職種研修会「医師のすそ野を広げる」主催：藤沢医師会		
	21	第2回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議	29	第3回障害者GH職員研修		
	21	ヨロシクトまるだいきーディネーター会議		「自閉症スペクトラムを中心とした発達障害の理解」		
	22	税理士打合せ、藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング	29	「在宅医療・介護多職種連携」医師のすそ野を広げる 主催：藤沢市医師会		
	25	第2回理事会				
	27	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	28	研修プロジェクト				
	28	マハロスタッフ会議				
7月	3	ホームヘルプミーティング	4	民生委員との連携 主催：ケアマネサロン善行包括	3	25, 30 民間介護事業推進委員会
	5	交流会企画委員会	5	「(社福)創施設見学」主催：藤沢市住まいと暮らし連絡会	4	18, 25, 30 一般社団法人市民福祉協議会理事会
	5	サ高住ミーティング	12	成年後見人制度について 主催：藤沢東部包括	4	11, 13, 18, 25 市民協福祉相談
	6	運営会議	17	支援困難ケースへの取り組み方 主催：ケアマネサロン 片瀬包括	11	じゃんけんぼん20周年記念式典
	9	事務局会議	18	19 神奈川県相談支援従事者初任者研修	12	13藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	10	防災委員会	18	第4回障害者GH職員研修「グループホーム職員のストレスマネジメント」	13	市民協経営会議常務理事会
	11	部門代表会議	19	ルームシャンプー パナソニックエイジフリー	13	生活支援コーディネーター連絡会
	11	ヨロシクトまるだいきッチンボラスタッフ会議	25	みんなで考える平穩死 主催：クローバーホスピタル	18	25 藤沢地区協議体打合せ
	14	第4回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	27	ケアプラン点検研修 主催：ケアマネリーダー事業	19	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	17	27税理士打合せ	27	高齢者の自殺対策～理論と実践～ 主催：鶴沼東包括	24	藤沢市障害事業所連絡会
	19	しがらきの湯スタッフ会議			25	30 民間介護事業推進委員会
	19	ヨロシクトまるだいきーディネーター会議				
	19	こどもまるだいきーディネーター会議				
	22	交流会				
	25	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	26	ケアマネミーティング				
	27	厨房ミーティング				
	27	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング、厨房ミーティング				
8月	3	運営会議	3	多職種研修会「病院から地域へ」	1	8, 10, 15, 29 市民協福祉相談
	7	ホームヘルプミーティング	4	知子先生の介護予防運動講座	3	29 民間介護事業推進委員会
	7	サ高住ミーティング	8	認知症予防のためのコグニサイズを教える研修会 主催：神奈川県高齢福祉課	6	10 一般社団法人市民福祉協議会打合せ
	8	ヨロシクトまるだいきッチンボラスタッフ会議	10	第5回障害者GH職員研修「障がい者グループホームの虐待防止」	9	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	8	部門代表会議	11	「ハラスメント」 主催：研修PJ	16	第3回相談支援連絡会
	9	コンシェルジュミーティング	18	竹内先生介護講座 主催：研修PJ	16	障がい者相談支援連絡会・えぼめいく
	10	しがらきの湯スタッフ会議	21	せつけん講習会 主催：研修PJ	17	生活支援コーディネーター連絡会
	11	第5回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	22	28 介護支援専門員新任者研修 主催：藤沢市	20	湘南オレンジカフェ連絡会
	15	厨房会議	22	看護小規模多機能居宅介護セミナー 主催：かながわ福祉サービス振興会	21	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	16	第3回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議	27	ケアプラン点検研修 主催：藤沢市	22	30 藤沢市介護スタッフ研修 講師
	16	ヨロシクトまるだいきーディネーター会議			25	26 コンフォール藤沢お祭り
	22	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング			27	横浜銀行頭取就任式
	23	交流会企画委員会			28	防災ネットワーク会議
	24	コンサル打合せ			30	第三者機関からの聞き取り調査（こどもまるだいきーディネーター会議）
	24	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	27	計画サポートミーティング				
	28	税理士打合せ				
	30	ケアマネミーティング				
	30	厨房ミーティング				
	31	運営会議				
9月	3	事務局会議	2	社会保障フォーラムイン神奈川	1	狭山市担い手養成講座 講師
	4	ホームヘルプミーティング	7	スキルアップ研修 心の病～身近な病気～ 主催：研修PJ	4	25 一般社団法人市民福祉協議会理事会
	5	部門代表会議	8	「法令遵守」主催：研修PJ	5	12, 19, 26, 27, 市民協福祉相談
	7	サ高住ミーティング	10	スキルアップ研修 誰でもできるフットケア 主催：研修PJ	13	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	8	第6回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	12	身体拘束廃止のリスクマネジメントセミナー 主催：あいおいニッセイ同和損保	14	生活支援コーディネーター連絡会
	11	居住支援「住まいる藤」ミーティング	13	介護&看護EXPO展示会	14	市民協福祉相談経営会議
	12	しがらきの湯スタッフ会議	19	災害時の減災の為に事業所が準備しておく事、知っておく事 主催：藤沢市介護保険事業所連絡会	14	市民協常務理事会
	12	ヨロシクトまるだいきッチンボラスタッフ会議	20	福祉車両安全運転講習会 主催：日本福祉車両協会	19	地域ケア会議説明会 主催：居宅介護支援事業所連絡協議会
	20	ヨロシクトまるだいきーディネーター会議	20	「在宅医療・介護連携」多職種研修会 認知症があっても「よく生きるために」 講師：片岡Dr.	21	湘南オレンジカフェ連絡会
	20	税理士打合せ	20	終活セミナー「住み慣れた地域で最後まで暮らすために」講師：片岡Dr.	28	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	22	オレンジまるだいきーディネーター会議	25	スキルアップ研修 いろはにほへと リハビリ 主催：研修PJ	30	ボランティアすみれ会議
	25	第3回理事会	26	スキルアップ研修 認知症ってどういふこと？ 主催：研修PJ		
	26	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング	26	資質向上研修「医療連携を学ぶ」 主催：居宅介護支援事業所連絡協議会		
	27	ケアマネミーティング	26	処遇改善加算セミナー 主催：(公財)介護労働安定センター		
	27	厨房ミーティング				
	27	こどもまるだいきーディネーター会議				
	28	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				

月	日	内 部 活 動	日	研 修、学 習	日	外 部 活 動
10月	1	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議	2	3,4,5ノロウイルス等感染症研修会 主催:藤沢保健所	1	地域協働会議 主催:藤沢病院
	5	運営会議	5	サ高住運営講習会	2	~11 藤沢市介護スタッフ研修 講師
	9	ホームヘルプミーティング	11	スキルアップ研修 藤のケア 主催:研修PJ	3	10,17,24,31 市民協福祉相談
	9	25 居住支援「住まいる藤」ミーティング	12	スキルアップ研修 時間をかけずにすっきりケア 主催:研修PJ	4	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	9	しがらきスタッフ会議	19	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等指導講習会	9	民間介護事業推進委員会
	10	部門代表会議、花どけいNo.90発行	24	キュービーによる介護食研修 主催:研修PJ	16	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	11	サ高住ミーティング	24	看護小規模多機能型居宅介護セミナー 主催:かながわ福祉サービス振興会	19	一般社団法人市民福祉協議会理事会
	13	第7回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	24	かわせみ体操研修 主催:藤沢市役所健康増進課	23	湘南オレンジカフェ連絡会
	17	厨房会議	25	第7回障害者GH職員研修「利用者から見た意思決定支援 ~グループホーム生活の場面で配慮してほしいこと」	24	看護小規模多機能型居宅介護セミナー講師
	18	第4回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議	25	「在宅医療・介護多職種連携」 デイスサービス・ショートステイ中の医療・介護連携	24	障がい者相談支援連絡会・えぼめいく
	18	研修プロジェクト会議			27	認知症サポーター養成講座講師
	20	交流会バスツアー				
	23	厨房ミーティング				
	25	税理士打合せ				
	25	ケアマネミーティング				
	25	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	26	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	27	オレンジまるだいき				
	29	計画サポートミーティング				
11月	2	運営会議	1	かながわ生活困窮者ネットワーク研修会「地域共生社会に向けた包括的支援」 主催:神奈川県・藤沢市・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク	8	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	6	ホームヘルプミーティング	5	「地域ケア会議で何?」 主催:鶴沼東・南包括	9	市民協常務理事会
	7	部門代表会議	5	~21理事長と語る会(全7回) 主催:研修PJ	13	神奈川県自立支援センター主催「横浜刑務所見学」
	10	第8回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	8	居住支援研修 講師:NPO法人ワンエイド 主催:住まいる藤	13	20,26一般社団法人市民福祉協議会理事会
	12	サ高住ミーティング	10	「個人情報とプライバシー」 主催:研修PJ	17	東京大学「医療による場づくりと福祉の街づくり」講師
	12	事務局会議	12	神奈川県居住支援協議会セーフティーネット制度説明会	19	民間介護事業推進委員会
	14	ヨロシクまるだいきッチンボラスタッフ会議	12	生活コーディネーターの役割・活動の理解	20	市民協福祉相談
	15	安全衛生委員会	15	「地域包括ケア病棟について・認知症ケア病棟について」 主催:村岡包括	28	藤沢地区交流会
	15	交流会企画委員会	15	「介護のための摂食、嚥下入門」食事介助編 主催:藤沢市介護保険事業所連絡会		
	22	ヨロシクまるだいきコーディネーター会議	15	「精神障害者が65才になる時」 主催:藤沢市精神障害者地域生活支援連絡会		
	24	オレンジまるだいき	16	緩和ケア研修「癌患者の食事、せん妄のケア」		
	28	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング	17	「福祉現場におけるリスクマネジメント~リスクはどこにある? 日ごろの備えと対策~」 主催:藤沢市住まいと暮らし連絡会		
	29	税理士打合せ	19	NDソフトウェアデモンストレーション		
	29	ケアマネミーティング	21	29 コーディネーター第二層初心者研修		
	30	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング	26	労働条件改善セミナー 主催:全国社労士会連絡会		
	30	運営会議	30	(社福) ひばり施設長見学		
12月	4	厨房ミーティング	2	「看取り」での経験を語る会 主催:クローバーホスピタル	3	12 藤沢市介護スタッフ研修 講師
	4	ホームヘルプミーティング	4	「地域で繋がる自立支援と居住支援」 主催:神奈川県居住支援協議会	6	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	5	部門代表会議	8	緩和ケア病棟見学会及び連携について 主催:湘南中央病院	6	20 グループスーパービジョン・第5回相談支援連絡会
	8	第9回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	8	第1回居住支援セミナー 主催:住まいる藤	11	小規模多機能型居宅介護事業所連絡会
	11	住まいる藤会議	8	「接遇」 主催:研修PJ	11	藤が岡町内会組長会議
	12	ヨロシクまるだいきキッチンボラスタッフ会議	11	17セーフティーネット制度説明会 主催:神奈川県居住支援協議会	12	一般社団法人市民福祉協議会理事会
	12	26 社労士打合せ	13	「横浜刑務所見学」 主催:神奈川県自立支援センター	13	生活支援コーディネーター連絡会
	13	交流会企画委員会	15	救命救急講習会 主催:研修PJ	14	25 市民協経営会議・打合せ
	13	防災委員会	18	川崎居住支援セミナー 主催:ホームネット	18	ふじさわ福祉NPO法人連絡会
	13	安全衛生委員会	19	地域ケア会議 主催:藤沢東部・西部包括合同	19	藤沢地区地域ケア会議
	13	サ高住ミーティング	21	アセスメントに重要な面談の「聞く」「話す」を見直す 主催:事業所連絡協議会	20	障がい者相談支援連絡会・えぼめいく
	13	一番館スタッフ会議	22	生活支援コーディネーターフォローアップ研修		
	17	計画サポートミーティング				
	19	厨房会議				
	20	ケアマネミーティング				
	20	第5回藤の花・しがらきの湯合同運営推進会議				
	20	ヨロシクまるだいきコーディネーター会議				
	21	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	22	オレンジまるだいき				
	25	税理士打合せ				
	26	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
1月	4	運営会議	10	研修「権利擁護」 主催:藤沢市住まいと暮らし連絡会	5	藤沢市賀詞交歓会
	4	ホームヘルプミーティング	17	「親亡き後の為に今できること」 主催:地域生活支援連絡会	9	市民協経営会議・打合せ、福祉相談
	8	ヨロシクまるだいきキッチンボラスタッフ会議	21	~3/18認知症介護実践者研修	10	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	8	26 住まいる藤ミーティング	23	サービス管理責任者研修共通講義	10	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	9	部門代表会議	25	セーフティーネット制度説明会横浜 主催:神奈川県居住支援協議会	11	市民協常務理事会
	12	第10回運営報告会・ヘルパー会議	26	回想実践講座	11	藤沢市事業所合同新年会
	15	住まいる藤会議	30	第2回居住支援セミナー 主催:住まいる藤	13	コンフォール藤沢新春の集い
	17	サ高住ミーティング	30	障がい者就労支援研修会	15	生活支援コーディネーター連絡会
	21	事務局会議			15	防災ネットワーク会議 主催:藤沢市危機管理課
	23	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング			16	日本生活協同組合新年会
	24	交流会企画委員会			18	一般社団法人市民福祉協議会理事会
	24	ヨロシクまるだいきコーディネーター会議			25	民間介護事業推進委員会
	25	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング			29	30 藤沢地区支え合い会議
	26	オレンジまるだいき				
	29	税理士打合せ				
	31	ケアマネミーティング				
	31	厨房ミーティング				
2月	1	運営会議	5	生活支援コーディネーターフォローアップ研修	3	新春の集い
	5	ホームヘルプミーティング	6	かわせみ体操講習会 主催:藤沢保健所	3	三富士町餅つき大会
	5	12,26 住まいる藤ミーティング	6	介護離職についてのフォーラム	4	生産性向上報告会
	5	部門代表会議	7	「高齢者施設見学」 主催:藤沢市住まいと暮らし連絡会	7	藤沢市住まいと暮らし連絡会
	10	第11回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	10	尿失禁に関するセミナー「私がなぜ?どうして!尿もれ」	8	市民協常務理事会
	10	花どけいNo.91発行	13	神奈川県サポート事業説明会	12	一般社団法人市民福祉協議会理事会
	13	ヨロシクまるだいきキッチンボラスタッフ会議	15	「生活に困窮する高齢者や家族の支援」 主催:村岡地区ケアマネ連絡会	14	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	13	14,21,25経理打合せ	19	介護サバイバルに勝ち残る経営セミナー	14	こどもまるだいきプレゼンテーション
	14	第6回藤の花運営推進会議	20	障害者権利条約講演会 主催:神奈川県社会福祉協議会	15	生活支援コーディネーター連絡会
	15	社労士打合せ	21	H30年度障害福祉サービス事業者等指導講習会	18	湘南オレンジカフェ連絡会
	16	藤の花家族会	21	栄養・食事よもやま話 主催:藤沢市介護事業所連絡会	19	ふじさわNPO法人連絡会
	18	計画サポートミーティング	23	映画「夜明け前」上映と今井友樹監督との対談 主催:藤沢市地域生活支援連絡会	22	民介事業推進委員会
	19	住まいる藤会議	26	縁側事業従事者研修	23	かるがも1周年交流会
	19	厨房会議			28	グループスーパービジョン・第6回相談支援連絡会
	20	第6回しがらきの湯運営推進会議				
	21	サ高住ミーティング				
	22	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	23	オレンジまるだいき				
	26	コンサル打合せ				
	26	税理士打合せ				
	26	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	27	NTT打合せ、厨房ミーティング				
	28	ケアマネミーティング				
3月	1	運営会議	5	藤沢市小規模連絡会研修 「デンマークの介護から考える”当たり前”ってなんだろう?」	4	民間介護事業推進委員会
	4	しがらきの湯スタッフ会議	5	体験から学ぶ褥瘡予防 主催:医療法人長谷川会 湘南ホスピタル	4	市役所ふくのわ打合せ
	4	ホームヘルプミーティング	7	神奈川県サービス管理責任者研修 主催:かながわ福祉サービス振興会	5	小規模多機能型居宅介護事業所連絡会
	6	部門代表会議	9	尊厳を支え自立支援に配慮した介護技術 「どっこいしょ!と言わない座位からの立ち上がり」	8	29 市民協常務理事会
	9	第12回運営報告会・ヘルパー会議・スタッフ会議	9	「不登校の現状と課題」 主催:社会福祉協議会	8	29 一般社団法人市民福祉協議会理事会
	11	事務局会議	9	就業規則について 主催:研修PJ	11	藤が岡中学校卒業証書授与式
	12	住まいる藤会議	11	藤沢病院地域協働会議「精神科デイケアの果たす役割について」	14	藤沢市個人情報保護制度運営審議会
	13	ヨロシクまるだいきキッチンボラスタッフ会議	12	認知症体験会 VR体験 主催:パナソニックエイジフリー	22	生活支援コーディネーター連絡会
	22	税理士打合せ	14	食品衛生講習会	27	藤沢地区支え合い会議
	22	サ高住ミーティング	23	認知症サポーター養成講座	31	ボランティアすみれ会議
	22	藤が岡の家・本藤沢の家ミーティング				
	23	オレンジまるだいき				
	26	一番館・しがらきの湯・藤の花三部門合同ミーティング				
	28	ケアマネミーティング				
	28	ヨロシクまるだいきコーディネーター会議				

提 案 者

理 事 長	佐藤 律子
会 長	鷺尾 公子
常務理事	笹原 美恵子
理 事	垣見 凌子
理 事	川島 進
理 事	倉持 泰雄
理 事	小林 純二郎
理 事	酒井 清美
理 事	卷瀨 静美
理 事	松岡 薫
監 事	小野 淑子
監 事	藤澤 抱一



歳をとっても病気になっても
障がいがあっても

いつまでも自分らしく暮らせる街を創りたい

第15回（通算第27回）通常総会議案書

発行日 2019年6月8日

発行者 認定NPO法人ぐるーぷ藤 理事会

住 所 藤沢市藤が岡1-4-2

電 話 0466-26-2001